

シラバス

科目名	英語文法 I		担当者名	高野美智子	
学科	公務員科 公務員コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	英文法、英文解釈、英単語、英熟語をマスターし公務員試験に合格する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	公務員初級・中級程度の問題を理解し、解けるようにする。				
授業概要	授業で学んだことを復習し、定着させる。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	基本文型/ 英文解釈1	19	代名詞/ 英文解釈15	
	2	時制 1/ 英文解釈2	20	前置詞/ 英文解釈16	
	3	時制 2 / 英文解釈3	21	関係代名詞/ 英文解釈17	
	4	時制のまとめ/ 英文解釈4	22	関係副詞/ 英文解釈18	
	5	自動詞と他動詞/ 英文解釈5	23	疑問詞の用法/ 英文解釈19	
	6	使役・知覚動詞/ 英文解釈6	24	関節疑問文と語順/ 英文解釈20	
	7	受動態/ 英文解釈7	25	付加疑問文/ 英文解釈21	
	8	中間試験対策/ 単語テスト	26	中間試験対策/ 単語テスト	
	9	前期中間試験→試験結果の確認と復習	27	後期中間試験→試験結果の確認と復習	
	10	助動詞/ 英文解釈8	28	仮定法1/ 英文解釈22	
	11	名詞と冠詞/ 英文解釈9	29	仮定法2/ 英文解釈23	
	12	比較表現1/ 英文解釈10	30	分詞構文/ 英文解釈24	
	13	比較表現2/ 英文解釈11	31	接続詞/ 英文解釈25	
	14	不定詞/ 英文解釈12	32	会話文/ 英文解釈26	
	15	動名詞/ 英文解釈13	33	イディオム1/ 英文解釈27	
	16	現在分詞と過去分詞/ 英文解釈14	34	イディオム2/ 英文解釈28	
	17	期末試験対策/ 単語テスト	35	期末試験対策/ 単語・イディオムテスト	
	18	前期期末試験→試験結果の確認と復習	36	後期期末試験→試験結果の確認と復習	
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	授業開始前と終了後に質問を受け付ける。	
	学習態度	40%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>0% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>100% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	担当教員は、全日本空輸(株)でCA、米系日本法人企業において外国人付秘書並びに人事採用担当、また米系金融日本法人企業の法務部にて弁護士アシスタントの仕事をした経験を持つ。英語は、カナダ、アメリカで3年間過ごした経験から身に着けたスキルである。(TOEIC 970)				

シラバス

科目名	数的処理 I		担当者名	佐藤保幸	
学科	公務員科 公務員コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	8単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	144時間(週講時数4)
授業目的	文章や資料を読み、表や図、数字を用いて論理的に考える力をつける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	各種公務員試験で出題割合の最も多い、数的処理の問題がどのようなものかを知り、解けるようにすることが目標である。				
授業概要	知能系の科目である。公務員試験だけでなく、就職試験でも類似の問題が出題され、数的処理自体が、受験者の知能を測定するツールとしてだけでなく、社会に出て仕事を遂行する実務能力を測るツールとしても扱われている。数的処理と聞くと数学と勘違いしている学生が散見されるが、数学とは異なる。勿論、必要最低限の数学を使いこなすが、文章をしっかりと正確に読む「読解力」が強く要求される科目であり、文章の読み方などに焦点を当てて講義をしていく。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	計算/方程式の基礎	19	数量推理/操作手順	
	2	文章題(連立方程式, 不等式, 不定方程式)	20	証言推理	
	3	文章題(比と割合, 濃度, 損益算)	21	立体図形の基礎/正多面体とその展開図	
	4	速さ(速さの3要素, 旅人算, 周回算, 時計算, ダイアグラム)	22	立体の切断/スライス法	
	5	速さ(流水算, 通過算, 仕事算, ニュートン算)	23	投影図/位相図	
	6	整数問題(約数・倍数, 素数, 剰余)	24	これまでの総復習/後期中間テスト	
	7	整数問題(規則性, 数列, 虫食い・覆面算, 魔法陣)	25	サイコロと五面図/平面パズル	
	8	場合の数	26	軌跡	
	9	確率	27	回転体/円盤の回転	
	10	平面図形(三角形, 多角形, 円)	28	資料解釈の基礎/実数の表	
	11	これまでの総復習/前期中間テスト	29	構成比/割合	
	12	集合(ベン図, カルノー表・キャロル表, 線分図)	30	指数	
	13	論理(全称命題と存在命題, ベン図, 真偽表など)	31	対前年増加率	
	14	対応関係	32	これまでの総復習/後期期末テスト	
	15	試合(総当たり戦, 対戦日程, トーナメント戦)	33	相関図	
	16	これまでの総復習/前期期末テスト	34	様々な資料	
	17	順序関係(順位, 数量)	35	最適化(線形計画法, PERT法)	
	18	位置関係(方位, 部屋割り, 座席表)	36	その他	
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	授業開始前と終了後に質問を受け付ける。	
	学習態度	40%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>0% R<実働実践型学習>0% A<主体的参加型学習>100% G<海外体感型学習>0%				
講師プロフィール	担当教員の専門は応用数学(数理物理学)だが、数学の応用範囲は幅広く、自ずと専門対象も幅広く扱っている。実務的な応用例を紹介しながら、難しいことをかみ砕いてわかりやすく伝えていきたい。				

シラバス

科目名	数学 I a		担当者名	仲田まり子	
学科	公務員科 公務員コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	8単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	144時間(週講時数4)
授業目的	高校数学の学びなおしを通して、公務員試験合格に必要な論理的な思考が出来るようにする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	高校数学 I で学んだ公式や定理を理解し使いこなせるようになる。				
授業概要	公務員試験に必要とされる数学を理解する。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	授業の進め方についてのガイダンス・プレースメントテスト	19	三角比の拡張	
	2	数と式 複雑な式の展開	20	正弦定理と余弦定理①	
	3	因数分解①	21	正弦定理と余弦定理②	
	4	因数分解②	22	正弦定理と余弦定理③	
	5	実数	23	三角形の面積比、空間図形①	
	6	式の値①	24	三角形の面積比、空間図形②	
	7	式の値②	25	図形の性質 三角形の外心、内心、重心①	
	8	一次不等式	26	三角形の外心、内心、重心②	
	9	二次関数 関数とグラフ①	27	三角形の色々な定理①	
	10	関数とグラフ②	28	三角形の色々な定理②	
	11	二次関数の最大最小①	29	円の基本性質	
	12	二次関数の最大最小②	30	円と直線①	
	13	二次方程式①	31	円と直線②	
	14	二次方程式②	32	空間図形	
	15	グラフとX軸の位置関係①	33	整数の性質 約数と倍数①	
	16	グラフとX軸の位置関係②	34	約数と倍数②	
	17	二次不等式	35	整数の性質の活用①	
	18	図形と計量 三角比の基礎	36	整数の性質の活用②	
成績割合	テスト	80%	学習FB方法	授業開始前後に質問を受け付ける。	
	学習態度	20%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>0% R<実働実践型学習>0% A<主体的参加型学習>100% G<海外体感型学習>0%				
講師プロフィール	担当教員は、専門学校において数学や心理学で十分な教育経験を有している。				

シラバス

科目名	文章表現 I		担当者名	堀切昌美	
学科	公務員科 公務員コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	公務員試験合格のための書き方を学び、文章力を身につける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	答案の書き方を知り、60分で800字程度が書けるようにする。 公務員試験の出題テーマに対し、自分の意見を表現できるようにする。				
授業概要	公務員試験論文作りに必要なルールや、構成の仕方を理解し、授業内で書き上げる。 添削、書き直しを繰り返すことで、第三者を意識した文章作成の完成度をあげ一次通過を目指す。				
授業計画表	授業内容		授業内容		
	1	オリエンテーション 出題傾向と求められることについて	19	論文型 小論文の書き方の概要	
	2	作文型小論文の書き方の概要	20	論文型①安心・安全な生活を送るために 現状と課題	
	3	作文型①「自己」を語る	21	論文型②安心・安全な生活を送るために 対策や改善	
	4	作文型②つらかった経験・失敗から学んだこと	22	論文型③暮らしやすいまちづくりとは 定義	
	5	作文型③最近心に残った出来事	23	論文型④少子高齢化 背景と対策	
	6	作文型④これから挑戦したいこと	24	論文型⑤外国人増加の影響	
	7	あるべき「公務員」像の語り方の概要	25	論文型⑥社会状況を説明する	
	8	「公務員像」の語り方①公務員に必要なこと	26	これまでの復習・後期中間試験とその解説	
	9	「公務員像」の語り方②私の目指す公務員像	27	論文型⑦災害に強い地域づくりとは	
	10	「公務員像」の語り方③住民に期待される公務員とは	28	論文型⑧防災・防犯において公務員がすべきこと	
	11	志望動機の書き方	29	論文型⑨情報社会について	
	12	自己PRの書き方	30	論文型⑩自治体の現状と施策、特徴 強みと弱み	
	13	エピソード作文のまとめ方と文章トレーニング①	31	過去問テーマに挑戦①警察官としての取り組み	
	14	エピソード作文のまとめ方と文章トレーニング②	32	過去問テーマに挑戦②消防官としての取り組み	
	15	本番に向けた対策 これまでの復習	33	過去問テーマに挑戦③行政職員としての取り組み	
	16	リベンジ作文 演習	34	過去問テーマに挑戦④行政職員としての取り組み	
	17	前期試験とその解説	35	後期期末試験とその解説	
	18	前期まとめと評価 各自課題設定	36	評価と今後の課題	
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	個別に添削指導を繰り返し、学生の理解力に合わせて課題を設定し質問に答える。	
	学習態度	20%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>0% R<実働実践型学習>0% A<<主体的参加型学習>>100% G<海外体感型学習>0%				
講師プロフィール	担当教員は、私立高校国語教師、公務員、日本語教師を経て民間企業に転身、営業部配属月間一千万円を売り上げ、昇格後、女性マネージャーとしてフランスルーブル美術館での着物ショーの裏方経験を持つ。以上を通じて担当教員が培った日本語の能力や社会常識などを若い世代に学ばせるべく、当校で10年以上教鞭をとり指導にあたっている。				

シラバス

科目名	総合講座 I a		担当者名	堀切昌美	
学科	公務員科 公務員コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	公務員試験合格のための文章理解の基礎学力(語彙力・読解力)を高める。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	文章理解の出題パターンを知り、自身の読み癖を改善し、解法ポイントに沿った読み取りができるようにする。				
授業概要	公務員の教養試験を通過しなくては採用には至らない。それを自覚させモチベーションを維持しながら問題に向き合っていく。選択問題の誤肢のつくられ方を見抜いたり、なぜそれが正解の答えになるのかを、話し合ったり、解説させることによって、自身の見方を深めさせていく。				
授業計画表	授業内容		授業内容		
	1	オリエンテーション 文章理解のパターンについてと公務員試験の出題傾向	19	国語問題 敬語について	
	2	文章読解 現代文 趣旨把握(1)	20	国語問題 まぎらわしい問題の捉えかた(1)	
	3	文章読解 現代文 趣旨把握(2)	21	国語問題 まぎらわしい問題の捉えかた(2)	
	4	国語問題 漢字の書き取り・読み	22	過去問対策(1) 現代文 趣旨把握	
	5	文章読解 現代文 合致問題(1)	23	過去問対策(2) 古文 趣旨把握	
	6	文章読解 現代文 合致問題(2)	24	過去問対策(3) 現代文 空欄補充	
	7	国語問題 四字熟語	25	過去問対策(4) 現代文 合致問題	
	8	文章読解 空欄補充問題(1)	26	過去問対策(5) 古文 合致問題	
	9	文章読解 空欄補充問題(2)	27	過去問対策(6) 現代文 文章整序	
	10	国語問題 ことわざ・慣用句・故事成語	28	過去問対策(7) 国語問題 警察・消防	
	11	文章整序問題(1)	29	過去問対策(8) 国語問題 行政事務	
	12	文章整序問題(2)	30	過去問対策(9) 苦手分野補強	
	13	文章整序問題(3)	31	過去問対策(10) 苦手分野補強	
	14	国語問題 文法	32	自治体別対策(警察官)	
	15	国語問題 品詞・活用	33	自治体別対策(消防官)	
	16	文章読解 古文(1)	34	自治体別対策(行政職員)	
	17	文章読解 古文(2)	35	後期試験とふりかえり	
18	前期試験 ふりかえり	36	まとめ 全授業に対する質疑応答		
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	随時小テストを実施する。また、授業の開始、終了時に質問を受け付ける。	
	学習態度	30%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>0% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>100% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	担当教員は、私立高校国語教師、公務員、日本語教師を経て民間企業に転身、営業部配属月間一千万円を売り上げ、昇格後、女性マネージャーとしてフランスルーブル美術館での着物ショーの裏方経験を持つ。以上を通じて担当教員が培った日本語の能力や社会常識などを若い世代に学ばせるべく、当校で10年以上教鞭をとり指導にあたっている。				

シラバス

科目名	社会科学 I a		担当者名	杉谷武信	
学科	公務員科 公務員コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	政治や経済などの仕組みを理解し、公務員試験に合格する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	公務員初級・中級程度の問題を理解し、解けるようにする。かつ、現状の政治や経済を論理的に理解し、それをもとにその現状を批判的にとらえる能力と、道徳性・視野の広さを身につける。				
授業概要	公務員試験に合格できる能力を身につけることを前提に、政治分野では日本国憲法における基本的人権、三権分立、選挙制度、国際連合の特徴やその意義、課題を学ぶ。経済分野では市場と企業の活動、そしてそれに関与する財政や中央銀行の金融政策の仕組みを学び、今日における自由主義政策や財政上の問題点を考え、かつそれらを解決するすべを考えていく。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	ガイダンス 授業の方針について	19	経済	市場経済(その1)
	2	政治 民主政治の基本原則と制度(その1)	20	経済	市場経済(その2)
	3	政治 民主政治の基本原則と制度(その2)	21	経済	市場経済(その3)
	4	政治 日本国憲法の基本原則と基本的人権(その1)	22	経済	国民経済の流れ(その1)
	5	政治 日本国憲法の基本原則と基本的人権(その2)	23	経済	国民経済の流れ(その2)
	6	政治 日本国憲法の基本原則と基本的人権(その3)	24	経済	国民経済の流れ(その3)
	7	政治 日本国憲法の統治機構(その1)	25	経済	国民経済の流れ(その4)
	8	政治 日本国憲法の統治機構(その2)	26		後期中間試験とその解説
	9	政治 日本国憲法の統治機構(その3)	27	経済	日本経済の発展(その1)
	10	政治 日本国憲法の統治機構(その4)	28	経済	日本経済の発展(その2)
	11	政治 政治の諸問題(その1)	29	経済	国際経済の動向と国際協力(その1)
	12	前期中間試験とその解説	30	経済	国際経済の動向と国際協力(その2)
	13	政治 政治の諸問題(その2)	31	社会	労働問題と消費者問題(その1)
	14	政治 政治の諸問題(その3)	32	社会	労働問題と消費者問題(その2)
	15	政治 国際政治(その1)	33	社会	人口問題(その1)
	16	政治 国際政治(その2)	34	社会	人口問題(その2)
	17	前期期末試験とその解説	35		後期期末試験とその解説
18	政治 国政政治(その3)	36	社会	地球環境問題	
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	授業開始前後に質問を受け付ける。	
	学習態度	40%			
	合計	100%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>0% R<実働実践型学習>0% A<<主体的参加型学習>>100% G<海外体感型学習>0%				
講師プロフィール	担当教員は専門学校において社会科学分野で十分な教育経験を有し、また大学において社会学指導の経験を有す。				

シラバス

科目名	人文科学 I a		担当者名	杉谷武信	
学科	公務員科 公務員コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ <u>通年</u> 必修・選択・ <u>必修選択</u>	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	日本史や世界史、地理、思想を理解し、公務員試験に合格する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	公務員試験初級・中級程度の問題を理解し、解けるようにする。かつ、とくに日本史・世界史の学習を通じて、歴史に対する関心を高めることはもちろんのこと、歴史から政治や経済、人類社会における本質を認識しつつ、それをもとに現代社会を批判的に捉える道徳性、視野の広さを身につける。				
授業概要	公務員試験に合格できる能力を身につけることを前提に、日本史では古代の律令体制の成立から江戸時代を中心とする武士政権の成立と衰退、その後の明治新政府から始まる立憲政治の展開を通覧する。世界史は近代ヨーロッパ史や中国史を中心にそのポイントを学習する。くわえて倫理は西洋と日本の思想を、地理については地図情報や地球環境などポイントを絞り込んで学習したい。				
授業計画表	授業内容		授業内容		
	1	ガイダンス 授業の方針について	19	倫理	日本の思想
	2	日本史 原始・古代の社会(その1)	20	地理	気候と土壌
	3	日本史 原始・古代の社会(その2)	21	地理	日本の地理
	4	日本史 原始・古代の社会(その3)	22	地理	ヨーロッパの地理
	5	日本史 中世の社会(その1)	23	世界史	西洋史(その1)
	6	日本史 中世の社会(その2)	24	世界史	西洋史(その2)
	7	日本史 中世の社会(その3)	25	世界史	西洋史(その3)
	8	日本史 近世の社会(その1)	26	後期中間試験とその解説	
	9	日本史 近世の社会(その2)	27	まとめ 19回から26回までの授業に関する質疑応答	
	10	日本史 近世の社会(その3)	28	世界史	西洋史(その4)
	11	日本史 近・現代の社会(その1)	29	世界史	中国史(その1)
	12	前期中間試験とその解説	30	世界史	中国史(その2)
	13	まとめ 12回までの授業に関する質疑応答	31	世界史	中国史(その3)
	14	日本史 近・現代の社会(その2)	32	地理	地図情報
	15	日本史 近・現代の社会(その3)	33	地理	地球環境
	16	倫理 西洋思想	34	地理	アジアの地理
	17	前期期末試験とその解説	35	後期期末試験とその解説	
18	まとめ 前期全授業に関する質疑応答	36	まとめ 後期全授業に関する質疑応答		
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	授業開始前後に質問を受け付ける。	
	学習態度	40%			
	合計	100%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>0% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>100% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	担当教員は専門学校において人文科学分野で十分な教育経験を有し、また大学において社会学指導の経験を有す。				

シラバス

科目名	特別講座 I d		担当者名	奥村大介	
学科	公務員科 公務員コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	6単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	108時間(週講時数3)
授業目的	数的処理など、数学的基盤が必要な科目の基礎的素養(割合と比、単位量当たりの大きさや確率など、小学校算数から中学校数学における学習内容を含む)を養成する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	一般常識テストが十分に解答できる力を身につける。				
授業概要	公務員試験に向けての基礎力養成を行なう。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	前期ガイダンス	19	図表の読み取り(1)	
	2	文章題(1)	20	図表の読み取り(2)	
	3	文章題(2)	21	集合(1)	
	4	代金の精算	22	集合(2)	
	5	割合と比	23	グラフの領域(1)	
	6	整数の式(1)	24	グラフの領域(2)	
	7	整数の式(2)	25	物流	
	8	代金の割引	26	ブラックボックス(1)	
	9	分割払い	27	ブラックボックス(2)	
	10	損益算	28	後期中間試験とその解説	
	11	速度(1)	29	長文読み取り(1)	
	12	速度(2)	30	長文読み取り(2)	
	13	場合の数(1)	31	推論(1)	
	14	場合の数(2)	32	推論(2)	
	15	前期期末試験とその解説	33	就職指導(1)	
	16	後期ガイダンス	34	就職指導(2)	
	17	確率(1)	35	後期期末試験とその解説	
18	確率(2)	36	総括 ※以上の授業内容については学生各自の能力や要望に応じて変更する。		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	授業内でレポートを課し、翌授業で返却する。	
	学習態度	25%			
	レポート	25%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>0% R<実働実践型学習>0% A<主体的参加型学習>100% G<海外体感型学習>0%				
講師プロフィール	担当教員は科学史・科学論を専攻する研究者であり、当該分野における研究・著述に加え、複数の専門学校・大学での教育歴をもつ。就職試験における一般常識科目の数学分野については、平成25年度から現在まで、総合学院テクノスカレッジ東京エアトラベル・ホテル専門学校において指導実績がある。				

シラバス

科目名	情報科学 I		担当者名	新井愛美	
学科	公務員科 公務員コース		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ <u>通年</u> 必修・選択・ <u>必修選択</u>	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	基礎知識を広く学習し、情報の概要を身に付ける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	就職後、会社等で使用するパソコン業務をスムーズに行えるようにする。				
授業概要	前期は一般的に使用されているアプリケーション(Word, Excel, PowerPoint)の基本操作をマスターする。 後期は前期に行ったことを踏まえ、応用力を付けて実務で役立つようにする。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	授業説明、フォルダ構成、文字入力など	19	Word応用	チラシ課題制作
	2	Word 基本機能	20	Excel応用	3D集計、シートの編集
	3	Word 表作成	21	Excel応用	個数の関数、順位の関数
	4	Word 図形の作成	22	Excel応用	データベース
	5	Word 基本総合	23	Excel応用	IF関数1
	6	Word テストとその解説	24	Excel応用	IF関数2
	7	Excel 基本機能	25	Excel応用	IF関数3
	8	Excel 計算式・関数	26	Excel応用	論理関数
	9	Excel グラフ	27	Excel応用	VLOOKUP関数
	10	Excel 絶対参照	28	Excel応用	条件付き書式、シートの保護、その他 便利な機能
	11	Excel 基本総合	29	Excel応用	総合問題2
	12	Excel テストとその解説	30	HTML&CSS	Webページ作成1
	13	PowerPoint 基本機能	31	HTML&CSS	Webページ作成2
	14	PowerPoint プレゼン資料作成	32	HTML&CSS	Webページ作成3
	15	PowerPoint プレゼン	33	HTML&CSS	Webページ作成4
	16	Word応用 DTPとは	34	情報概論、情報社会のモラル、知的財産権	
	17	Word応用 チラシ作成	35	テストとその解説	
18	Word応用 チラシ作成	36	テスト返却とまとめ		
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	授業内、または授業前後で質問を受ける。	
	学習態度	30%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>0% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>100% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	担当教員は専門学校において情報分野で十分な教育経験を有す。過去、企業研修や大学講座を担当した経験あり。				

シラバス

科目名	基礎ゼミIA		担当者名	杉谷武信	
学科	公務員科 公務員コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	36時間(週講時数1)
授業目的	公務員や社会人に必要な資質を獲得しつつ、公務員の合格を目指す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	公務員試験合格に必要な知識や論理的思考力、道徳性、幅広い視野、コミュニケーション能力が身につく。				
授業概要	公務員合格に必要な能力を身につけることを前提に、現代における諸課題(ダイバーシティの確保、災害対策、少子高齢化、防犯など)を知り、その現状や解決法を各自の資料調査やディスカッション、プレゼンテーションを通じて探っていく。あわせて、各行政機関の見学によって、公務員の仕事や地域社会への関心を高めていく。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	前期ガイダンス 前期ゼミの方針について	19	後期ガイダンス 後期ゼミの方針について	
	2	近代社会の特徴 分業の発展(その1)	20	地域社会の現状を知ろう 少子高齢化(その1)	
	3	近代社会の特徴 分業の発展(その2)	21	地域社会の現状を知ろう 少子高齢化(その2)	
	4	近代社会の特徴 個人主義(その1)	22	子育てがしやすいまちを考えてみよう(その1)	
	5	近代社会の特徴 個人主義(その2)	23	子育てがしやすいまちを考えてみよう(その2)	
	6	多様性のある地域を考えてみよう(その1)	24	高齢者が生活しやすいまちを考えてみよう(その1)	
	7	多様性のある地域を考えてみよう(その2)	25	高齢者が生活しやすいまちを考えてみよう(その2)	
	8	プレゼンテーションと質疑応答	26	プレゼンテーションと質疑応答	
	9	社会見学(東京地方裁判所傍聴)	27	社会見学(東京消防庁見学)	
	10	社会見学の振り返り	28	社会見学の振り返り	
	11	災害の実態を知ろう(その1)	29	犯罪・火災の実態を知ろう(その1)	
	12	災害の実態を知ろう(その2)	30	犯罪・火災の実態を知ろう(その2)	
	13	災害に強いまちを考えてみよう(その1)	31	犯罪・火災に強いまちを考えてみよう(その1)	
	14	災害に強いまちを考えてみよう(その2)	32	犯罪・火災に強いまちを考えてみよう(その2)	
	15	社会見学(海上保安庁羽田航空基地見学)	33	社会見学(警視庁見学)	
	16	社会見学の振り返り	34	社会見学の振り返り	
	17	プレゼンテーションと質疑応答	35	プレゼンテーションと質疑応答	
	18	前期まとめ 前期全授業に関する質疑応答	36	後期まとめ 後期全授業に関する質疑応答	
成績割合	レポート	30%	学習FB方法	授業開始前後に質問を受け付ける。	
	学習態度	40%			
	プレゼンテーション	30%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>0% R<実働実践型学習>0% A<<主体的参加型学習>>100% G<海外体感型学習>0%				
講師プロフィール	担当教員は専門学校において社会・人文科学分野で十分な教育経験を有し、また大学において社会学指導の経験を有す。				

シラバス

科目名	英語文法II		担当者名	高野美智子	
学科	公務員科 公務員コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ <u>通年</u> 必修・選択・ <u>必修選択</u>	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	英文法、英文解釈、英単語、英熟語をマスターし公務員試験に合格する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	公務員初級・中級程度の問題を理解し、解けるようにする。				
授業概要	1年次で学んだことをふまえ、過去問演習に取り組む。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	英文法総復習(演習問題1-2)	19	英検準2級リスニング演習 第1部	
	2	英文法総復習(演習問題3-4)	20	英検準2級リスニング演習 第2部	
	3	英文法総復習(演習問題5-6)	21	英検準2級リスニング演習 第3部	
	4	英文法総復習(演習問題7-8)	22	TOEIC Part1 人物の描写	
	5	英文法総復習(演習問題9-10)	23	TOEIC Part1 物の描写	
	6	警察官採用試験 過去問演習1	24	TOEIC Part1 人物の動作と状況の描写	
	7	警察官採用試験 過去問演習2	25	チャレンジ問題 Part1	
	8	予想問題に挑戦	26	TOEIC Part2 WH疑問文	
	9	前期中間試験→試験結果の確認と復習	27	後期中間試験→試験結果の確認と復習	
	10	消防官採用試験 過去問演習1	28	TOEIC Part2 Yes/No 疑問文	
	11	消防官採用試験 過去問演習2	29	TOEIC Part2 選択疑問文	
	12	予想問題に挑戦	30	TOEIC Part2 依頼・許可疑問文	
	13	海上保安学校 過去問演習1	31	TOEIC Part2 提案・勧誘疑問文	
	14	海上保安学校 過去問演習2	32	TOEIC Part2 付加疑問文	
	15	海上保安学校 過去問演習3	33	TOEIC Part2 否定疑問文	
	16	予想問題に挑戦	34	TOEIC Part2 肯定文・否定文	
	17	予想問題に挑戦	35	チャレンジ問題 Part2	
	18	前期期末試験→試験結果の確認と復習	36	後期期末試験→試験結果の確認と復習	
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	授業開始前と終了後に質問を受け付ける。	
	学習態度	40%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>0% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>100% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	担当教員は、全日本空輸(株)でCA、米系日本法人企業において外国人付秘書並びに人事採用担当、また米系金融日本法人企業の法務部にて弁護士アシスタントの仕事をした経験を持つ。英語は、カナダ、アメリカで3年間過ごした経験から身に着けたスキルである。(TOEIC 970)				

シラバス

科目名	数的処理Ⅱ		担当者名	佐藤保幸	
学科	公務員科 公務員コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	8単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	144時間(週講時数4)
授業目的	文章や資料を読み、表や図、数字を用いて論理的に考える力をつける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	前期では1年時に学習した数的処理Ⅰに引き続き、数的処理の理解を深めていくことを目的とする。そして、数的処理の問題で正答率6割を目標に、点数の取り方を身に付けてもらいたい。後期では、財務諸表を読めるようにする。「読める」と一口で言っても、単に電卓をたたいて数字を出すわけではない。財務諸表を通じて、社会を知ってもらうことが目標である。				
授業概要	前期では、数的処理の数的推理、判断推理、空間把握、資料解釈の4分野を総合的に演習しながら理解を深めていく。さらに、各問題の難易度の見分け方や点数の取り方など、実戦的な訓練を行っていく。後期では、数的処理で学んだ、割合、利益計算、推論、最適化、資料解釈の手法を用いて、有名企業の財務諸表の分析を行う。財務諸表は読み方だけでなく、財務諸表には何が書かれていて、何がわかるのか、逆に数字からわからないことは何かを知ることも大事である。この作業を通じて、企業の客観的な評価の仕方を学んでもらう。広い意味で「評価」とは何かを知る機会にもしたい。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	数的推理復習と応用	19	お金とは/通貨/価値とは/市場	
	2	数的推理復習と応用	20	需要と供給、需給曲線/物価/GDPと景気/デフレ・インフレ	
	3	数的推理演習	21	人口と労働/地価と不動産	
	4	判断推理復習と応用	22	経済主体(企業, 家計, 政府)/経済体制/アベノミクス	
	5	判断推理復習と応用	23	銀行の役割/信用/金利/ローンと複利計算/国債	
	6	判断推理演習	24	消費と投資(投機と投資の違い)/後期中間テスト	
	7	空間把握復習と応用	25	会社とは/企業経営/原価率/売上と利益	
	8	空間把握演習	26	営業活動とマーケティング/外部資本効果(借金・負債)のメリット・デメリット	
	9	資料解釈復習と応用	27	財務諸表とは/BSとPLの構造と関係	
	10	資料解釈演習	28	複式簿記で記帳する。	
	11	これまでの総復習/前期中間テスト	29	有名企業の財務諸表を読む①	
	12	数的処理演習	30	有名企業の財務諸表を読む②	
	13	数的処理演習	31	財務諸表分析①	
	14	数的処理演習	32	財務諸表分析②	
	15	数的処理演習	33	財務諸表分析③	
	16	これまでの総復習/前期期末テスト	34	財務諸表分析④	
	17	数的処理直前演習	35	後期期末テストとその解説	
18	数的処理直前演習	36	会社の評価(良い会社とは何だろうか)		
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	授業開始前と終了後に質問を受け付ける。	
	学習態度	40%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>0% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>100% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	担当教員の専門は応用数学であり、数学の研究のみならず、統計学などのデータ分析、最適化、数理ファイナンスなどの門外漢から見ると高度な数学を、実務的に用いて仕事をすることも多い。社会に出てから使えることを主眼に置きつつ、応用数学の面白さも伝えていきたい。				

シラバス

科目名	数学Ⅱa		担当者名	仲田まり子	
学科	公務員科 公務員コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	6単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ <u>通年</u> 必修・選択・ <u>必修選択</u>	授業時間数	108時間(週講時数3)
授業目的	高校数学の学びなおしを通して、公務員試験合格に必要な論理的な思考ができるようにする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	より実践的な解法・テクニックを使いこなせるようになる。				
授業概要	公務員試験に必要とされる数学を理解する。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	式と計算 三角関数の展開と因数分解①	19	三角関数①	
	2	三角関数の展開と因数分解②	20	三角関数②	
	3	二項定理①	21	加法定理①	
	4	二項定理②	22	加法定理②	
	5	整数の割り算、分数式①	23	指数関数①	
	6	整数の割り算、分数式②	24	指数関数②	
	7	複素数と方程式 二次方程式の解と判別式①	25	対数関数①	
	8	二次方程式の解と判別式②	26	対数関数②	
	9	解と係数の関係①	27	微分①	
	10	解と係数の関係②	28	微分②	
	11	解と係数の関係③	29	微分③	
	12	解と係数の関係④	30	微分④	
	13	剰余の定理と因数定理①	31	積分①	
	14	剰余の定理と因数定理②	32	積分②	
	15	剰余の定理と因数定理③	33	積分③	
	16	剰余の定理と因数定理④	34	積分④	
	17	高次方程式①	35	過去問演習①	
	18	高次方程式②	36	過去問演習②	
成績割合	テスト	80%	学習FB方法	授業時間前後に質問を受け付ける。	
	学習態度	20%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>0% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>100% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	担当教員は、専門学校において数学や心理学で十分な教育経験を有している。				

シラバス

科目名	文章表現Ⅱ		担当者名	堀切昌美	
学科	公務員科 公務員コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	公務員論文試験に合格する力を養うと同時に、社会に出て必要な文章力を培う。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	設定時間内に、作文課題の指定字数を書けるようにする。 公務員として、また、社会人としてモラルある意見を述べるができるようにする。				
授業概要	公務員採用試験、一次通過に大きなウエイトを占める論文を、求められるところに沿って書き、合格論文のレベルに到達するまで、書き直すことで自身の推敲力も上げていく。自信を持って書けるよう、自宅での復習も併せて進めていく。個別対応で細かな指導と助言を繰り返したい。				
授業計画表	授業内容				
	1	昨年度評価とそれぞれの課題の確認	19	さまざまな視点から意見文を書くということ	
	2	本番に向けての見直し・文章トレーニング	20	演習 新聞記事・評論文より問題設定する(1)	
	3	テーマ別 答案作成 ①「自己」について	21	演習 新聞記事・評論文より問題設定する(2)	
	4	テーマ別 答案作成 ②自分の経験を活かす	22	演習 新聞記事・評論文より問題設定する(3)	
	5	テーマ別 答案作成 ③最近気になったニュース	23	演習 新聞記事・評論文より問題設定する(4)	
	6	テーマ別 答案作成 ④〇〇としてやってみたいこと	24	演習 新聞記事・評論文より問題設定する(5)	
	7	「あるべき公務員像」についての書き方の概要	25	後期中間試験とその解説	
	8	「公務員像」の書き方 ①希望職種別 求められること・職務内容の確認	26	意見発表・グループディスカッション	
	9	「公務員像」の書き方 ②理想とする公務員像	27	集団討議の意見提示・効果的な話し合い	
	10	「公務員像」の書き方 ③住民に期待される〇〇像と取り組み	28	自分の思いを自分の言葉で発表する(1)	
	11	設問応答型論文の対処法	29	自分の思いを自分の言葉で発表する(2)	
	12	過去問テーマから各自自由に作文(1)	30	自分の思いを自分の言葉で発表する(3)	
	13	過去問テーマから各自自由に作文(2)	31	様々な文章を書く そのさいの目的と心構え	
	14	過去問テーマから各自自由に作文(3)	32	報告書の書き方	
	15	過去問テーマから各自自由に作文(4)	33	レポートの書き方	
	16	過去問テーマから各自自由に作文(5)	34	手紙の書き方	
	17	前期定期試験との解説	35	後期期末試験とその解説	
	18	まとめと評価	36	卒業にあたって 文章表現の今後の活かし方について	
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	個別に添削指導を繰り返し、学生の理解力に合わせて課題を設定し質問に答える。	
	学習態度	20%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>0% R<実働実践型学習>0% A<主体的参加型学習>100% G<海外体感型学習>0%				
講師プロフィール	担当教員は、私立高校国語教師、公務員、日本語教師を経て民間企業に転身、営業部配属月間一千万円を売り上げ、昇格後、女性マネージャーとしてフランスルーブル美術館での着物ショーの裏方経験を持つ。以上を通じて担当教員が培った日本語の能力や社会常識などを若い世代に学ばせるべく、当校で10年以上教鞭をとり指導にあたっている。				

シラバス

科目名	総合講座Ⅱa		担当者名	堀切昌美	
学科	公務員科 公務員コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	文章理解Ⅰの基礎力を定着させ、公務員採用試験一次突破することを目指し、国語力を高める				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	公務員一次試験の文章理解の問題に対し、自身をもって誤肢を消去することができる。社会人として恥ずかしくないように、熟語の読みや意味を理解できるようにする。				
授業概要	航空学科2学年との合同授業で、前期は公務員採用本試験に向けて、過去問を中心に実践力をつけていく。後期は、様々な文章を読み、要約したり意見交換することで社会に必要な実用文に慣れる。最終的に内定確定まで、就職試験対策のSPIIについてもフォローを継続し、指導していく。				
授業計画表	授業内容		授業内容		
	1	文章合致問題を解く(1)	19	政府刊行物・白書から考える(1)	
	2	文章合致問題を解く(2)	20	政府刊行物・白書から考える(2)	
	3	趣旨把握問題を解く(1)	21	政府刊行物・白書から考える(3)	
	4	趣旨把握問題を解く(2)	22	政府刊行物・白書から考える(4)	
	5	空欄補充問題を解く(1)	23	政府刊行物・白書から考える(5)	
	6	空欄補充問題を解く(2)	24	SPI 言語分野対策(1)	
	7	文章整序問題を解く(1)	25	SPI 言語分野対策(2)	
	8	文章整序問題を解く(2)	26	後期中間試験とその解説	
	9	古文 合致問題・趣旨把握問題を解く(1)	27	グループディスカッション(1)	
	10	古文 合致問題・趣旨把握問題を解く(2)	28	グループディスカッション(2)	
	11	国語問題を解く(1)	29	グループディスカッション(3)	
	12	国語問題を解く(2)	30	いろいろな文章に触れる 業界紙	
	13	過去問題に挑戦(1)	31	いろいろな文章に触れる 雑誌	
	14	過去問題に挑戦(2)	32	グループワーク(1)	
	15	過去問題に挑戦(3)	33	グループワーク(2)	
	16	過去問題に挑戦(4)	34	新聞記事から考える(1)	
	17	過去問題に挑戦(5)	35	新聞記事から考える(2)	
	18	中間試験 ふりかえり	36	定期試験とその解説 まとめ	
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	適宜、小テストを実施する。また、調べたことを発表したり質問の場を設け知識の定着を図っていく。	
	学習態度	15%			
	レポート	15%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>0% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>100% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	担当教員は、私立高校国語教師、公務員、日本語教師を経て民間企業に転身、営業部配属月間一千万円を売り上げ、昇格後、女性マネージャーとしてフランスルーブル美術館での着物ショーの裏方経験を持つ。以上を通じて担当教員が培った日本語の能力や社会常識などを若い世代に学ばせるべく、当校で10年以上教鞭をとり指導にあたっている。				

シラバス

科目名	情報科学Ⅱ		担当者名	波多野将明	
学科	公務員科 公務員コース		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	情報機器を動かしているプログラムの基本的な動作を学ぶ。プログラミングとはどのようなものか知る。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	情報セキュリティの重要性を理解する。java言語を用い簡単なプログラムを作成実行できるようになる。				
授業概要	情報機器の動作原理を知る。コンピュータで実践しながらプログラミングについて学ぶ。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	ファイルシステム1 フォルダの作成 移動1	19	IF文を使ったプログラム1	
	2	ファイルシステム2 フォルダの移動2 名前変更	20	IF文を使ったプログラム2	
	3	エディターの使い方1	21	IF文を使ったプログラム3	
	4	エディターの使い方2	22	IF文を使ったプログラム4	
	5	簡単なプログラム作成とコンパイル、実行1	23	IF文を使ったプログラム5	
	6	簡単なプログラム作成とコンパイル、実行2	24	IF文を使ったプログラム6	
	7	簡単なプログラム作成とコンパイル、実行3	25	IF文を使ったプログラム7	
	8	簡単なプログラム作成とコンパイル、実行4	26	繰り返し処理を使ったプログラム1	
	9	数値を使ったプログラム1	27	繰り返し処理を使ったプログラム2	
	10	数値を使ったプログラム2	28	繰り返し処理を使ったプログラム3	
	11	数値を使ったプログラム3	29	繰り返し処理を使ったプログラム4	
	12	数値を使ったプログラム4	30	繰り返し処理を使ったプログラム5	
	13	文字列を使ったプログラム1	31	配列を使ったプログラム1	
	14	文字列を使ったプログラム2	32	配列を使ったプログラム2	
	15	文字列を使ったプログラム3	33	配列を使ったプログラム3	
	16	文字列を使ったプログラム4	34	配列を使ったプログラム4	
	17	文字列を使ったプログラム5	35	配列を使ったプログラム5	
	18	文字列を使ったプログラム6	36	配列を使ったプログラム6	
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	プログラム作成に関するアドバイス プログラム内のミスの指摘	
	学習態度	20%			
	レポート	40%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>0% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>100% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	教員はjavaによる実務開発経験がある。				

シラバス

科目名	社会科学Ⅱb		担当者名	杉谷武信		
学科	公務員科 公務員コース		授業方法	講義		
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択	授業時間数	36時間(週講時数2)	
授業目的	政治や経済などの仕組みを理解し、公務員試験に合格する。					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	公務員初級・中級程度の問題を理解し、解けるようにする。					
授業概要	1年次で学んだことをふまえ、公務員試験の問題演習に取り組む。とくに政治分野では各国の政治体制や日本国憲法における自由権・社会権、三権分立(国会・内閣・裁判所)、選挙制度、経済分野では国民所得や経気動向、財政や日銀の金融政策、社会分野では人口や地球環境問題など頻出されやすい事項に絞込む。					
授業計画表	授業内容			授業内容		
	1	ガイダンス 授業の方針について	19			
	2	社会 社会保障制度のあゆみ(その1)	20			
	3	社会 社会保障制度のあゆみ(その2)	21			
	4	社会 医療問題	22			
	5	社会 環境問題・公害問題	23			
	6	問題演習 国家機能の変遷 社会契約説	24			
	7	問題演習 日本国憲法における基本的人権	25			
	8	問題演習 日本の三権分立	26			
	9	問題演習 市場と企業形態	27			
	10	問題演習 国民所得と景気動向、日銀の金融政策	28			
	11	問題演習 財政の仕組み	29			
	12	前期中間試験とその解説	30			
	13	問題演習 日本の経済発展	31			
	14	問題演習 国際経済体制	32			
	15	問題演習 労働関連法規と労働事情	33			
	16	問題演習 人口と地球環境問題	34			
	17	前期期末試験とその解説	35			
	18	まとめ 全授業に対する質疑応答	36			
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	授業開始前後に質問を受け付ける。		
	学習態度	40%				
	合計	100%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格		
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>0% R<実働実践型学習>0% A<<主体的参加型学習>>100% G<海外体感型学習>0%					
講師プロフィール	担当教員は専門学校において社会科学分野で十分な教育経験を有し、また大学において社会指導の経験を有す。					

シラバス

科目名	人文科学Ⅱb		担当者名	杉谷武信	
学科	公務員科 公務員コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択	授業時間数	36時間(週講時数2)
授業目的	日本史や世界史、地理、思想を理解し、公務員試験に合格する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	公務員初級・中級程度の問題を理解し、解けるようにする。				
授業概要	公務員試験合格を前提に、1年次で学んだことをふまえ、公務員試験の問題演習に取り組む。特に出題傾向が比較的高い、(1)近世・近代日本史と世界史、(2)日本・世界の文学・思想史、(3)地球環境について問題演習を行う。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	ガイダンス 授業の目的・目標・概要の確認	19		
	2	問題演習 江戸幕藩体制の成立から崩壊まで	20		
	3	問題演習 日本の近代国家形成過程(明治期から大正期を中心に)	21		
	4	問題演習 近代中国史(清の成立から滅亡、その後の民主主義・社会主義の展)	22		
	5	問題演習 第一次世界大戦から第二次世界大戦、そしてその後の日本	23		
	6	問題演習 武士政権の成立(平時政権から鎌倉幕府、室町幕府へ)	24		
	7	問題演習 近世・近代ヨーロッパ史(大航海時代・ルネサンス・宗教革命)	25		
	8	問題演習 近世・近代代ヨーロッパ史(イギリス・フランス史・アメリカ史)	26		
	9	問題演習 近世・近代ヨーロッパ史(ドイツ史・ロシア史)	27		
	10	問題演習 日本の土地制度史 公地公民制の成立とその崩壊、荘園の形成、検地の開始など	28		
	11	問題演習 日本の文学・芸術・思想	29		
	12	前期中間試験とその解説	30		
	13	問題演習 世界の文学・芸術・思想	31		
	14	問題演習 地図情報 地球環境(大地形・小地形)	32		
	15	問題演習 地球環境 気候区と土壌	33		
	16	問題演習 各国の地誌	34		
	17	前期期末試験とその解説	35		
	18	まとめ 全授業についての質疑応答	36		
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	授業開始前後に質問を受け付ける。	
	学習態度	40%			
	合計	100%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>0% R<実働実践型学習>0% A<主体的参加型学習>100% G<海外体感型学習>0%				
講師プロフィール	担当教員は専門学校において人文科学分野で十分な教育経験を有し、また大学において社会学指導の経験を有す。				

シラバス

科目名	ケーススタディ		担当者名	瀬戸ロ仁	
学科	公務員科 公務員コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	行政に関連する様々な問題や課題を確認し、どう対応すべきかを考えていく。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	公務員や社会人にふさわしい倫理・道徳観ならびに知識を身につける。				
授業概要	授業ごとに用意された各種資料から今日の行政や国民生活が抱えるテーマ・課題をおさえた上で、各自は行政の一員(あるいは社会の一員)として、ディスカッションしながら、それらの理解につとめ、どのように業務を行うべきか、また生活していくべきかを考えていく。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	ガイダンス 前期の授業内容、目的、目標、概要について	19	後期ガイダンス 後期の授業内容について	
	2	公務員の不祥事対策 セクハラ	20	公務員の仕事の特徴 避難勧告	
	3	公務員の不祥事対策 パワハラ	21	公務員の仕事の特徴 海上保安庁	
	4	高齢者対策	22	公務員の仕事の特徴 警察	
	5	男女共同参画社会をめざして	23	公務員の仕事の特徴 租税や生活保護	
	6	大規模水害対策	24	公務員の仕事の特徴 し尿処理	
	7	子どもの貧困対策	25	公務員の仕事の特徴 ごみ処理	
	8	児童虐待対策	26	性的犯罪に関する治安対策について	
	9	個人情報保護法について	27	薬物規制について	
	10	特定秘密保護法について	28	タトゥーの是非	
	11	マイナンバー制度について考える	29	障害者の社会参加について	
	12	前期中間試験とその解説	30	現代家族の形態	
	13	規制緩和の意義と問題点	31	リスク社会をどう生きるか	
	14	憲法改正と国民投票法	32	表現の自由をめぐる問題(その1)	
	15	討論の仕方(その1)	33	表現の自由をめぐる問題(その2)	
	16	討論の仕方(その2)	34	混迷する世界情勢をどう生きるか	
	17	前期期末試験とその解説	35	後期期末試験とその解説	
18	まとめ 前期の全授業についての質疑応答	36	まとめ 後期の全授業についての質疑応答		
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	授業の終わりに質問を受け付ける	
	学習態度	30%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>0% R<実働実践型学習>0% A<主体的参加型学習>100% G<海外体感型学習>0%				
講師プロフィール	担当教員は、サンケイスポーツ新聞社で記者として11年間プロ野球を担当。メジャーリーグを始めとする4大プロスポーツ、オリンピック、ワールドカップ等を取材。のち、産経新聞で記者として1年間政治等を取材。そのほか、東北福祉大学等で講師を担当。全国で公演活動を展開。				

シラバス

科目名	心理学a		担当者名	仲田まり子	
学科	公務員科 公務員コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択	授業時間数	36時間(週講時数2)
授業目的	心理学の学習を通して、自分自身を含めた人間への理解を深める。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	心理学的知見と理論を理解する。				
授業概要	人間の心の仕組み・心の働きを心理学的知見と理論を通して解き明かす。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	心理学の歴史・心の研究法	19		
	2	社会心理学とは	20		
	3	傍観者実験①	21		
	4	傍観者実験②	22		
	5	社会的促進実験①	23		
	6	社会的促進実験②	24		
	7	ホーソン実験①	25		
	8	ホーソン実験②	26		
	9	印象形成実験	27		
	10	つり橋実験	28		
	11	同調実験①	29		
	12	同調実験②	30		
	13	フットインザドア実験	31		
	14	認知的不協和実験①	32		
	15	認知的不協和実験②	33		
	16	模擬刑務所実験	34		
	17	アイヒマン実験	35		
	18	認知心理学 視覚の不思議	36		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	授業時間前後に質問を受け付ける。	
	学習態度	50%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>0% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>100% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	担当教員は、専門学校において数学や心理学で十分な教育経験を有している。				

シラバス

科目名	教養Ⅱ		担当者名	堀切昌美	
学科	公務員科 公務員コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	公務員・社会人にふさわしいマナーを身につける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	年2回実施される、文科省公認【ビジネス能力検定(ジョブパス)】の3級、2級の合格を目指す。				
授業概要	就職活動の準備として、また社会人の常識・マナーやモラルを習得するための学習を行う。				
授業計画表	授業内容		授業内容		
	1	キャリアとは / 仕事へのアプローチ/身だしなみの基本	19	時事問題を新聞記事から読み解く(その1)	
	2	将来の自分/仕事への取り組み方	20	時事問題を新聞記事から読み解く(その2)	
	3	組織人としての重要な心構え/仕事の進め方	21	社会人としてのルール・コンプライアンス	
	4	お客様第一主義・8つの意識	22	メモの重要性と取り方	
	5	コミュニケーションとビジネスマナーの基本	23	ビジネス会話の特徴・目的	
	6	指示の受け方と報告・連絡・相談	24	商談にあたっての心構えと行動	
	7	話し方と聞き方のポイント	25	会議の基本的な流れ・議事録のポイント	
	8	尊敬語・謙譲語・丁寧語の使い分け	26	人前で話す方法・話の構成	
	9	電話対応・来客対応と訪問のマナー	27	人前で話す 実践編	
	10	冠婚葬祭のマナー	28	チームワークの意義と重要性	
	11	仕事のマニュアル化	29	仕事に影響を及ぼす人間関係	
	12	ビジネス文書の基本	30	問題発見と解決の方法	
	13	統計データの作り方・読み方	31	論理的思考・分析方法	
	14	情報収集とメディアの活用	32	報告書の書き方・企画書の書き方	
	15	会社数字の読み方	33	社内文書と社外文書	
	16	ネットワークと電子メールの活用	34	国際経済と日本経済	
	17	ビジネス用語	35	ビジネスの基本と法律	
	18	前期定期試験 ふりかえり	36	後期試験とその解説	
成績割合	テスト	90%	学習FB方法	授業の開始終了後に質問を受け付ける。	
	学習態度	10%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>0% R<実働実践型学習>0% A<主体的参加型学習>100% G<海外体感型学習>0%				
講師プロフィール	担当教員は、私立高校国語教師、公務員、日本語教師を経て民間企業に転身、営業部配属月間一千万円を売り上げ、昇格後、女性マネージャーとしてフランスルーブル美術館での着物ショーの裏方経験を持つ。以上を通じて担当教員が培ったビジネスマナーや社会常識などを若い世代に学ばせるべく、当校で10年以上教鞭をとり指導にあたっている。				

シラバス

科目名	自然科学Ⅱa		担当者名	笹茂夫	
学科	公務員科 公務員コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択	授業時間数	36時間(週講時数2)
授業目的	公務員試験自然科学分野のうち出題頻度の高い10項目を扱う。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	公務員試験初級中級程度の自然科学分野で扱う基礎的問題が容易に解答できるようになること。				
授業概要	公務員試験の自然科学分野で出題頻度の高い細胞の構造と働き、同化と異化、岩石と火山などの内容について学ぶ。年度により出題傾向が変わるため項目に変動の可能性がある。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	細胞の構造と働き1	19		
	2	細胞の構造と働き2	20		
	3	同化(光合成)と異化(呼吸)1	21		
	4	同化(光合成)と異化(呼吸)2	22		
	5	岩石・火山1	23		
	6	岩石・火山2	24		
	7	生物の反応と調節1	25		
	8	生物の反応と調節2	26		
	9	地球の岩圏と気圏1	27		
	10	地球の岩圏と気圏2	28		
	11	力のつりあい・運動エネルギー1	29		
	12	力のつりあい・運動エネルギー2	30		
	13	遺伝1	31		
	14	遺伝2	32		
	15	人の器官1	33		
	16	人の器官2	34		
	17	物質の性質	35		
	18	式の計算。関数	36		
成績割合	テスト	80%	学習FB方法	講義に合わせた演習を毎回行ない質問を受け付ける。	
	学習態度	20%			
	合計	100%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>0% R<実働実践型学習>0% A<主体的参加型学習>100% G<海外体感型学習>0%				
講師プロフィール	担当教員は専門学校において自然科学分野で十分な教育経験を有し、また現役の電気設備系技術者でもある。				

シラバス

科目名	応用ゼミ I A		担当者名	杉谷武信	
学科	公務員科 公務員コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択	授業時間数	36時間(週講時数2)
授業目的	政治や経済情勢が変化するなか、各自が公務員や社会人として、どのように生きるべきかを考える。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	行政や一般企業で働くさいに必要な、将来の業界の動向について関心を高めると同時に、論理的思考力やコミュニケーション能力、幅広い視野、道徳性を身につける。				
授業概要	各自の将来の就職先となるさまざまな行政機関や一般企業の特徴を知ることが前提として、文献やweb資料を用いて、世界や日本の現状を調べながら、それらの将来について考える。さらに、各自が国民として、また社会人としてどのような社会を作るべきかを考えていく。以上について、各自がレポートを作成し、プレゼンやディスカッションを行う。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	ガイダンス ゼミの方針について	19		
	2	資料の集め方	20		
	3	討論・質疑応答の方法	21		
	4	レジュメの作り方	22		
	5	プレゼンの仕方	23		
	6	レポートのまとめ方	24		
	7	社会の変化の探求(その1)	25		
	8	社会の変化の探求(その2)	26		
	9	社会の変化の探求(その3)	27		
	10	研究成果の中間報告会	28		
	11	行政や企業はどのように変わっていくか(その1)	29		
	12	行政や企業はどのように変わっていくか(その2)	30		
	13	行政や企業はどのように変わっていくか(その3)	31		
	14	どのような社会をつくりたいか(その1)	32		
	15	どのような社会をつくりたいか(その2)	33		
	16	どのような社会をつくりたいか(その3)	34		
	17	研究成果報告 テクノス展に向けて	35		
	18	まとめ 全授業に関する質疑応答	36		
成績割合	レポート	35%	学習FB方法	授業開始前後に質問を受け付ける。	
	学習態度	30%			
	プレゼンテーション	35%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>0% R<実働実践型学習>0% A<主体的参加型学習>100% G<海外体感型学習>0%				
講師プロフィール	担当教員は専門学校において社会・人文科学分野で十分な教育経験を有し、また大学において社会学指導の経験を有す。				

シラバス

科目名	英語文法 I		担当者名	高野美智子	
学科	公務員科 大学コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ <u>通年</u> 必修・選択・ <u>必修選択</u>	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	英文法、英文解釈、英単語、英熟語をマスターし公務員試験に合格する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	公務員初級・中級程度の問題を理解し、解けるようにする。				
授業概要	授業で学んだことを復習し、定着させる。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	基本文型/ 英文解釈1	19	代名詞/ 英文解釈15	
	2	時制 1/ 英文解釈2	20	前置詞/ 英文解釈16	
	3	時制 2 / 英文解釈3	21	関係代名詞/ 英文解釈17	
	4	時制のまとめ/ 英文解釈4	22	関係副詞/ 英文解釈18	
	5	自動詞と他動詞/ 英文解釈5	23	疑問詞の用法/ 英文解釈19	
	6	使役・知覚動詞/ 英文解釈6	24	関節疑問文と語順/ 英文解釈20	
	7	受動態/ 英文解釈7	25	付加疑問文/ 英文解釈21	
	8	中間試験対策/ 単語テスト	26	中間試験対策/ 単語テスト	
	9	前期中間試験→試験結果の確認と復習	27	後期中間試験→試験結果の確認と復習	
	10	助動詞/ 英文解釈8	28	仮定法1/ 英文解釈22	
	11	名詞と冠詞/ 英文解釈9	29	仮定法2/ 英文解釈23	
	12	比較表現1/ 英文解釈10	30	分詞構文/ 英文解釈24	
	13	比較表現2/ 英文解釈11	31	接続詞/ 英文解釈25	
	14	不定詞/ 英文解釈12	32	会話文/ 英文解釈26	
	15	動名詞/ 英文解釈13	33	イディオム1/ 英文解釈27	
	16	現在分詞と過去分詞/ 英文解釈14	34	イディオム2/ 英文解釈28	
	17	期末試験対策/ 単語テスト	35	期末試験対策/ 単語・イディオムテスト	
	18	前期期末試験→試験結果の確認と復習	36	後期期末試験→試験結果の確認と復習	
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	授業開始前と終了後に質問を受け付ける。	
	学習態度	40%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>0% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>100% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	担当教員は、全日本空輸(株)でCA、米系日本法人企業において外国人付秘書並びに人事採用担当、また米系金融日本法人企業の法務部にて弁護士アシスタントの仕事をした経験を持つ。英語は、カナダ、アメリカで3年間過ごした経験から身に着けたスキルである。(TOEIC 970)				

シラバス

科目名	数的処理 I		担当者名	佐藤保幸	
学科	公務員科 大学コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	8単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	144時間(週講時数4)
授業目的	文章や資料を読み、表や図、数字を用いて論理的に考える力をつける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	各種公務員試験で出題割合の最も多い、数的処理の問題がどのようなものかを知り、解けるようにすることが目標である。				
授業概要	知能系の科目である。公務員試験だけでなく、就職試験でも類似の問題が出題され、数的処理自体が、受験者の知能を測定するツールとしてだけでなく、社会に出て仕事を遂行する実務能力を測るツールとしても扱われている。数的処理と聞くと数学と勘違いしている学生が散見されるが、数学とは異なる。勿論、必要最低限の数学を使いこなすが、文章をしっかりと正確に読む「読解力」が強く要求される科目であり、文章の読み方などに焦点を当てて講義をしていく。				
授業計画表	授業内容		授業内容		
	1	計算/方程式の基礎	19	数量推理/操作手順	
	2	文章題(連立方程式, 不等式, 不定方程式)	20	証言推理	
	3	文章題(比と割合, 濃度, 損益算)	21	立体図形の基礎/正多面体とその展開図	
	4	速さ(速さの3要素, 旅人算, 周回算, 時計算, ダイアグラム)	22	立体の切断/スライス法	
	5	速さ(流水算, 通過算, 仕事算, ニュートン算)	23	投影図/位相図	
	6	整数問題(約数・倍数, 素数, 剰余)	24	これまでの総復習/後期中間テスト	
	7	整数問題(規則性, 数列, 虫食い・覆面算, 魔法陣)	25	サイコロと五面図/平面パズル	
	8	場合の数	26	軌跡	
	9	確率	27	回転体/円盤の回転	
	10	平面図形(三角形, 多角形, 円)	28	資料解釈の基礎/実数の表	
	11	これまでの総復習/前期中間テスト	29	構成比/割合	
	12	集合(ベン図, カルノー表・キャロル表, 線分図)	30	指数	
	13	論理(全称命題と存在命題, ベン図, 真偽表など)	31	対前年増加率	
	14	対応関係	32	これまでの総復習/後期期末テスト	
	15	試合(総当たり戦, 対戦日程, トーナメント戦)	33	相関図	
	16	これまでの総復習/前期期末テスト	34	様々な資料	
	17	順序関係(順位, 数量)	35	最適化(線形計画法, PERT法)	
18	位置関係(方位, 部屋割り, 座席表)	36	その他		
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	授業開始前と終了後に質問を受け付ける。	
	学習態度	40%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>0% R<実働実践型学習>0% A<主体的参加型学習>100% G<海外体感型学習>0%				
講師プロフィール	担当教員の専門は応用数学(数理物理学)だが、数学の応用範囲は幅広く、自ずと専門対象も幅広く扱っている。実務的な応用例を紹介しながら、難しいことをかみ砕いてわかりやすく伝えていきたい。				

シラバス

科目名	数学 I a		担当者名	仲田まり子	
学科	公務員科 大学コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	8単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	144時間(週講時数4)
授業目的	高校数学の学びなおしを通して、公務員試験合格に必要な論理的な思考が出来るようにする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	高校数学 I で学んだ公式や定理を理解し使いこなせるようになる。				
授業概要	公務員試験に必要とされる数学を理解する。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	授業の進め方についてのガイダンス・プレースメントテスト	19	三角比の拡張	
	2	数と式 複雑な式の展開	20	正弦定理と余弦定理①	
	3	因数分解①	21	正弦定理と余弦定理②	
	4	因数分解②	22	正弦定理と余弦定理③	
	5	実数	23	三角形の面積比、空間図形①	
	6	式の値①	24	三角形の面積比、空間図形②	
	7	式の値②	25	図形の性質 三角形の外心、内心、重心①	
	8	一次不等式	26	三角形の外心、内心、重心②	
	9	二次関数 関数とグラフ①	27	三角形の色々な定理①	
	10	関数とグラフ②	28	三角形の色々な定理②	
	11	二次関数の最大最小①	29	円の基本性質	
	12	二次関数の最大最小②	30	円と直線①	
	13	二次方程式①	31	円と直線②	
	14	二次方程式②	32	空間図形	
	15	グラフとX軸の位置関係①	33	整数の性質 約数と倍数①	
	16	グラフとX軸の位置関係②	34	約数と倍数②	
	17	二次不等式	35	整数の性質の活用①	
	18	図形と計量 三角比の基礎	36	整数の性質の活用②	
成績割合	テスト	80%	学習FB方法	授業開始前後に質問を受け付ける。	
	学習態度	20%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>0% R<実働実践型学習>0% A<主体的参加型学習>100% G<海外体感型学習>0%				
講師プロフィール	担当教員は、専門学校において数学や心理学で十分な教育経験を有している。				

シラバス

科目名	文章表現 I		担当者名	堀切昌美	
学科	公務員科 大学コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	公務員試験合格のための書き方を学び、文章力を身につける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	答案の書き方を知り、60分で800字程度が書けるようにする。 公務員試験の出題テーマに対し、自分の意見を表現できるようにする。				
授業概要	公務員試験論作文に必要なルールや、構成の仕方を理解し、授業内で書き上げる。 添削、書き直しを繰り返すことで、第三者を意識した文章作成の完成度をあげ一次通過を目指す。				
授業計画表	授業内容		授業内容		
	1	オリエンテーション 出題傾向と求められることについて	19	論文型 小論文の書き方の概要	
	2	作文型小論文の書き方の概要	20	論文型①安心・安全な生活を送るために 現状と課題	
	3	作文型①「自己」を語る	21	論文型②安心・安全な生活を送るために 対策や改善	
	4	作文型②つらかった経験・失敗から学んだこと	22	論文型③暮らしやすいまちづくりとは 定義	
	5	作文型③最近心に残った出来事	23	論文型④少子高齢化 背景と対策	
	6	作文型④これから挑戦したいこと	24	論文型⑤外国人増加の影響	
	7	あるべき「公務員」像の語り方の概要	25	論文型⑥社会状況を説明する	
	8	「公務員像」の語り方①公務員に必要なこと	26	これまでの復習・後期中間試験とその解説	
	9	「公務員像」の語り方②私の目指す公務員像	27	論文型⑦災害に強い地域づくりとは	
	10	「公務員像」の語り方③住民に期待される公務員とは	28	論文型⑧防災・防犯において公務員がすべきこと	
	11	志望動機の書き方	29	論文型⑨情報社会について	
	12	自己PRの書き方	30	論文型⑩自治体の現状と施策、特徴 強みと弱み	
	13	エピソード作文のまとめ方と文章トレーニング①	31	過去問テーマに挑戦①警察官としての取り組み	
	14	エピソード作文のまとめ方と文章トレーニング②	32	過去問テーマに挑戦②消防官としての取り組み	
	15	本番に向けた対策 これまでの復習	33	過去問テーマに挑戦③行政職員としての取り組み	
	16	リベンジ作文 演習	34	過去問テーマに挑戦④行政職員としての取り組み	
	17	前期試験とその解説	35	後期期末試験とその解説	
	18	前期まとめと評価 各自課題設定	36	評価と今後の課題	
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	個別に添削指導を繰り返し、学生の理解力に合わせて課題を設定し質問に答える。	
	学習態度	20%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>0% R<実働実践型学習>0% A<主体的参加型学習>100% G<海外体感型学習>0%				
講師プロフィール	担当教員は、私立高校国語教師、公務員、日本語教師を経て民間企業に転身、営業部配属月間一千万円を売り上げ、昇格後、女性マネージャーとしてフランスルーブル美術館での着物ショーの裏方経験を持つ。以上を通じて担当教員が培った日本語の能力や社会常識などを若い世代に学ばせるべく、当校で10年以上教鞭をとり指導にあたっている。				

シラバス

科目名	総合講座 I a		担当者名	堀切昌美	
学科	公務員科 大学コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期 必修・選択・ 通年 必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	公務員試験合格のための文章理解の基礎学力(語彙力・読解力)を高める。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	文章理解の出題パターンを知り、自身の読み癖を改善し、解法ポイントに沿った読み取りができるようにする。				
授業概要	公務員の教養試験を通過しなくては採用には至らない。それを自覚させモチベーションを維持しながら問題に向き合っていく。選択問題の誤肢のつくられ方を見抜いたり、なぜそれが正解の答えになるのかを、話し合ったり、解説させることによって、自身の見方を深めさせていく。				
授業計画表	授業内容		授業内容		
	1	オリエンテーション 文章理解のパターンについてと公務員試験の出題傾向	19	国語問題 敬語について	
	2	文章読解 現代文 趣旨把握(1)	20	国語問題 まぎらわしい問題の捉えかた(1)	
	3	文章読解 現代文 趣旨把握(2)	21	国語問題 まぎらわしい問題の捉えかた(2)	
	4	国語問題 漢字の書き取り・読み	22	過去問対策(1) 現代文 趣旨把握	
	5	文章読解 現代文 合致問題(1)	23	過去問対策(2) 古文 趣旨把握	
	6	文章読解 現代文 合致問題(2)	24	過去問対策(3) 現代文 空欄補充	
	7	国語問題 四字熟語	25	過去問対策(4) 現代文 合致問題	
	8	文章読解 空欄補充問題(1)	26	過去問対策(5) 古文 合致問題	
	9	文章読解 空欄補充問題(2)	27	過去問対策(6) 現代文 文章整序	
	10	国語問題 ことわざ・慣用句・故事成語	28	過去問対策(7) 国語問題 警察・消防	
	11	文章整序問題(1)	29	過去問対策(8) 国語問題 行政事務	
	12	文章整序問題(2)	30	過去問対策(9) 苦手分野補強	
	13	文章整序問題(3)	31	過去問対策(10) 苦手分野補強	
	14	国語問題 文法	32	自治体別対策(警察官)	
	15	国語問題 品詞・活用	33	自治体別対策(消防官)	
	16	文章読解 古文(1)	34	自治体別対策(行政職員)	
	17	文章読解 古文(2)	35	後期試験とふりかえり	
18	前期試験 ふりかえり	36	まとめ 全授業に対する質疑応答		
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	随時小テストを実施する。また、授業の開始、終了時に質問を受け付ける。	
	学習態度	30%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>0% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>100% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	担当教員は、私立高校国語教師、公務員、日本語教師を経て民間企業に転身、営業部配属月間一千万円を売り上げ、昇格後、女性マネージャーとしてフランスルーブル美術館での着物ショーの裏方経験を持つ。以上を通じて担当教員が培った日本語の能力や社会常識などを若い世代に学ばせるべく、当校で10年以上教鞭をとり指導にあたっている。				

シラバス

科目名	社会科学 I a		担当者名	杉谷武信	
学科	公務員科 大学コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ <u>通年</u> 必修・選択・ <u>必修選択</u>	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	政治や経済などの仕組みを理解し、公務員試験に合格する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	公務員初級・中級程度の問題を理解し、解けるようにする。かつ、現状の政治や経済を論理的に理解し、それをもとにその現状を批判的にとらえる能力と、道徳性・視野の広さを身につける。				
授業概要	公務員試験に合格できる能力を身につけることを前提に、政治分野では日本国憲法における基本的人権、三権分立、選挙制度、国際連合の特徴やその意義、課題を学ぶ。経済分野では市場と企業の活動、そしてそれに関与する財政や中央銀行の金融政策の仕組みを学び、今日における自由主義政策や財政上の問題点を考え、かつそれらを解決するすべを考えていく。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	ガイダンス 授業の方針について	19	経済	市場経済(その1)
	2	政治 民主政治の基本原則と制度(その1)	20	経済	市場経済(その2)
	3	政治 民主政治の基本原則と制度(その2)	21	経済	市場経済(その3)
	4	政治 日本国憲法の基本原則と基本的人権(その1)	22	経済	国民経済の流れ(その1)
	5	政治 日本国憲法の基本原則と基本的人権(その2)	23	経済	国民経済の流れ(その2)
	6	政治 日本国憲法の基本原則と基本的人権(その3)	24	経済	国民経済の流れ(その3)
	7	政治 日本国憲法の統治機構(その1)	25	経済	国民経済の流れ(その4)
	8	政治 日本国憲法の統治機構(その2)	26		後期中間試験とその解説
	9	政治 日本国憲法の統治機構(その3)	27	経済	日本経済の発展(その1)
	10	政治 日本国憲法の統治機構(その4)	28	経済	日本経済の発展(その2)
	11	政治 政治の諸問題(その1)	29	経済	国際経済の動向と国際協力(その1)
	12	前期中間試験とその解説	30	経済	国際経済の動向と国際協力(その2)
	13	政治 政治の諸問題(その2)	31	社会	労働問題と消費者問題(その1)
	14	政治 政治の諸問題(その3)	32	社会	労働問題と消費者問題(その2)
	15	政治 国際政治(その1)	33	社会	人口問題(その1)
	16	政治 国際政治(その2)	34	社会	人口問題(その2)
	17	前期期末試験とその解説	35		後期期末試験とその解説
18	政治 国政政治(その3)	36	社会	地球環境問題	
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	授業開始前後に質問を受け付ける。	
	学習態度	40%			
	合計	100%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>0% R<実働実践型学習>0% A<<主体的参加型学習>>100% G<海外体感型学習>0%				
講師プロフィール	担当教員は専門学校において社会科学分野で十分な教育経験を有し、また大学において社会学指導の経験を有す。				

シラバス

科目名	人文科学 I a		担当者名	杉谷武信	
学科	公務員科 大学コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択 必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	日本史や世界史、地理、思想を理解し、公務員試験に合格する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	公務員試験初級・中級程度の問題を理解し、解けるようにする。かつ、とくに日本史・世界史の学習を通じて、歴史に対する関心を高めることはもちろんのこと、歴史から政治や経済、人類社会における本質を認識しつつ、それをもとに現代社会を批判的に捉える道徳性、視野の広さを身につける。				
授業概要	公務員試験に合格できる能力を身につけることを前提に、日本史では古代の律令体制の成立から江戸時代を中心とする武士政権の成立と衰退、その後の明治新政府から始まる立憲政治の展開を通覧する。世界史は近代ヨーロッパ史や中国史を中心にそのポイントを学習する。くわえて倫理は西洋と日本の思想を、地理については地図情報や地球環境などポイントを絞り込んで学習したい。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	ガイダンス 授業の方針について	19	倫理 日本の思想	
	2	日本史 原始・古代の社会(その1)	20	地理 気候と土壌	
	3	日本史 原始・古代の社会(その2)	21	地理 日本の地理	
	4	日本史 原始・古代の社会(その3)	22	地理 ヨーロッパの地理	
	5	日本史 中世の社会(その1)	23	世界史 西洋史(その1)	
	6	日本史 中世の社会(その2)	24	世界史 西洋史(その2)	
	7	日本史 中世の社会(その3)	25	世界史 西洋史(その3)	
	8	日本史 近世の社会(その1)	26	後期中間試験とその解説	
	9	日本史 近世の社会(その2)	27	まとめ 19回から26回までの授業に関する質疑応答	
	10	日本史 近世の社会(その3)	28	世界史 西洋史(その4)	
	11	日本史 近・現代の社会(その1)	29	世界史 中国史(その1)	
	12	前期中間試験とその解説	30	世界史 中国史(その2)	
	13	まとめ 12回までの授業に関する質疑応答	31	世界史 中国史(その3)	
	14	日本史 近・現代の社会(その2)	32	地理 地図情報	
	15	日本史 近・現代の社会(その3)	33	地理 地球環境	
	16	倫理 西洋思想	34	地理 アジアの地理	
	17	前期期末試験とその解説	35	後期期末試験とその解説	
18	まとめ 前期全授業に関する質疑応答	36	まとめ 後期全授業に関する質疑応答		
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	授業開始前後に質問を受け付ける。	
	学習態度	40%			
	合計	100%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>0% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>100% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	担当教員は専門学校において人文科学分野で十分な教育経験を有し、また大学において社会学指導の経験を有す。				

シラバス

科目名	特別講座 I d		担当者名	奥村大介	
学科	公務員科 大学コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	6単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ <u>通年</u> 必修・選択・ <u>必修選択</u>	授業時間数	108時間(週講時数3)
授業目的	数的処理など、数学的基盤が必要な科目の基礎的素養(割合と比、単位数当たりの大きさや確率など、小学校算数から中学校数学における学習内容を含む)を養成する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	一般常識テストが十分に解答できる力を身につける。				
授業概要	公務員試験に向けての基礎力養成を行なう。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	前期ガイダンス	19	図表の読み取り(1)	
	2	文章題(1)	20	図表の読み取り(2)	
	3	文章題(2)	21	集合(1)	
	4	代金の精算	22	集合(2)	
	5	割合と比	23	グラフの領域(1)	
	6	整数の式(1)	24	グラフの領域(2)	
	7	整数の式(2)	25	物流	
	8	代金の割引	26	ブラックボックス(1)	
	9	分割払い	27	ブラックボックス(2)	
	10	損益算	28	後期中間試験とその解説	
	11	速度(1)	29	長文読み取り(1)	
	12	速度(2)	30	長文読み取り(2)	
	13	場合の数(1)	31	推論(1)	
	14	場合の数(2)	32	推論(2)	
	15	前期期末試験とその解説	33	就職指導(1)	
	16	後期ガイダンス	34	就職指導(2)	
	17	確率(1)	35	後期期末試験とその解説	
18	確率(2)	36	総括 ※以上の授業内容については学生各自の能力や要望に応じて変更する。		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	授業内でレポートを課し、翌授業で返却する。	
	学習態度	25%			
	レポート	25%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>0% R<実働実践型学習>0% A<主体的参加型学習>100% G<海外体感型学習>0%				
講師プロフィール	担当教員は科学史・科学論を専攻する研究者であり、当該分野における研究・著述に加え、複数の専門学校・大学での教育歴をもつ。就職試験における一般常識科目の数学分野については、平成25年度から現在まで、総合学院テクノスカレッジ東京エアトラベル・ホテル専門学校において指導実績がある。				

シラバス

科目名	情報科学 I		担当者名	新井愛美	
学科	公務員科 大学コース		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択 必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	基礎知識を広く学習し、情報の概要を身に付ける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	就職後、会社等で使用するパソコン業務をスムーズに行えるようにする。				
授業概要	前期は一般的に使用されているアプリケーション(Word, Excel, PowerPoint)の基本操作をマスターする。 後期は前期に行ったことを踏まえ、応用力を付けて実務で役立つようにする。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	授業説明、フォルダ構成、文字入力など	19	Word応用	チラシ課題制作
	2	Word 基本機能	20	Excel応用	3D集計、シートの編集
	3	Word 表作成	21	Excel応用	個数の関数、順位の関数
	4	Word 図形の作成	22	Excel応用	データベース
	5	Word 基本総合	23	Excel応用	IF関数1
	6	Word テストとその解説	24	Excel応用	IF関数2
	7	Excel 基本機能	25	Excel応用	IF関数3
	8	Excel 計算式・関数	26	Excel応用	論理関数
	9	Excel グラフ	27	Excel応用	VLOOKUP関数
	10	Excel 絶対参照	28	Excel応用	条件付き書式、シートの保護、その他 便利な機能
	11	Excel 基本総合	29	Excel応用	総合問題2
	12	Excel テストとその解説	30	HTML&CSS	Webページ作成1
	13	PowerPoint 基本機能	31	HTML&CSS	Webページ作成2
	14	PowerPoint プレゼン資料作成	32	HTML&CSS	Webページ作成3
	15	PowerPoint プレゼン	33	HTML&CSS	Webページ作成4
	16	Word応用 DTPとは	34	情報概論、情報社会のモラル、知的財産権	
	17	Word応用 チラシ作成	35	テストとその解説	
18	Word応用 チラシ作成	36	テスト返却とまとめ		
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	授業内、または授業前後で質問を受ける。	
	学習態度	30%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>0% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>100% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	担当教員は専門学校において情報分野で十分な教育経験を有す。過去、企業研修や大学講座を担当した経験あり。				

シラバス

科目名	基礎ゼミIA		担当者名	杉谷武信	
学科	公務員科 大学コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択 必修選択	授業時間数	36時間(週講時数1)
授業目的	公務員や社会人に必要な資質を獲得しつつ、公務員の合格を目指す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	公務員試験合格に必要な知識や論理的思考力、道徳性、幅広い視野、コミュニケーション能力が身につく。				
授業概要	公務員合格に必要な能力を身につけることを前提に、現代における諸課題(ダイバーシティの確保、災害対策、少子高齢化、防犯など)を知り、その現状や解決法を各自の資料調査やディスカッション、プレゼンテーションを通じて探っていく。あわせて、各行政機関の見学によって、公務員の仕事や地域社会への関心を高めていく。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	前期ガイダンス 前期ゼミの方針について	19	後期ガイダンス 後期ゼミの方針について	
	2	近代社会の特徴 分業の発展(その1)	20	地域社会の現状を知ろう 少子高齢化(その1)	
	3	近代社会の特徴 分業の発展(その2)	21	地域社会の現状を知ろう 少子高齢化(その2)	
	4	近代社会の特徴 個人主義(その1)	22	子育てがしやすいまちを考えてみよう(その1)	
	5	近代社会の特徴 個人主義(その2)	23	子育てがしやすいまちを考えてみよう(その2)	
	6	多様性のある地域を考えてみよう(その1)	24	高齢者が生活しやすいまちを考えてみよう(その1)	
	7	多様性のある地域を考えてみよう(その2)	25	高齢者が生活しやすいまちを考えてみよう(その2)	
	8	プレゼンテーションと質疑応答	26	プレゼンテーションと質疑応答	
	9	社会見学(東京地方裁判所傍聴)	27	社会見学(東京消防庁見学)	
	10	社会見学の振り返り	28	社会見学の振り返り	
	11	災害の実態を知ろう(その1)	29	犯罪・火災の実態を知ろう(その1)	
	12	災害の実態を知ろう(その2)	30	犯罪・火災の実態を知ろう(その2)	
	13	災害に強いまちを考えてみよう(その1)	31	犯罪・火災に強いまちを考えてみよう(その1)	
	14	災害に強いまちを考えてみよう(その2)	32	犯罪・火災に強いまちを考えてみよう(その2)	
	15	社会見学(海上保安庁羽田航空基地見学)	33	社会見学(警視庁見学)	
	16	社会見学の振り返り	34	社会見学の振り返り	
	17	プレゼンテーションと質疑応答	35	プレゼンテーションと質疑応答	
	18	前期まとめ 前期全授業に関する質疑応答	36	後期まとめ 後期全授業に関する質疑応答	
成績割合	レポート	30%	学習FB方法	授業開始前後に質問を受け付ける。	
	学習態度	40%			
	プレゼンテーション	30%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>0% R<実働実践型学習>0% A<主体的参加型学習>100% G<海外体感型学習>0%				
講師プロフィール	担当教員は専門学校において社会・人文科学分野で十分な教育経験を有し、また大学において社会学指導の経験を有す。				

シラバス

科目名	英語文法II		担当者名	高野美智子	
学科	公務員科 大学コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	英文法、英文解釈、英単語、英熟語をマスターし公務員試験に合格する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	公務員初級・中級程度の問題を理解し、解けるようにする。				
授業概要	1年次で学んだことをふまえ、過去問演習に取り組む。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	英文法総復習(演習問題1-2)	19	英検準2級リスニング演習 第1部	
	2	英文法総復習(演習問題3-4)	20	英検準2級リスニング演習 第2部	
	3	英文法総復習(演習問題5-6)	21	英検準2級リスニング演習 第3部	
	4	英文法総復習(演習問題7-8)	22	TOEIC Part1 人物の描写	
	5	英文法総復習(演習問題9-10)	23	TOEIC Part1 物の描写	
	6	警察官採用試験 過去問演習1	24	TOEIC Part1 人物の動作と状況の描写	
	7	警察官採用試験 過去問演習2	25	チャレンジ問題 Part1	
	8	予想問題に挑戦	26	TOEIC Part2 WH疑問文	
	9	前期中間試験→試験結果の確認と復習	27	後期中間試験→試験結果の確認と復習	
	10	消防官採用試験 過去問演習1	28	TOEIC Part2 Yes/No 疑問文	
	11	消防官採用試験 過去問演習2	29	TOEIC Part2 選択疑問文	
	12	予想問題に挑戦	30	TOEIC Part2 依頼・許可疑問文	
	13	海上保安学校 過去問演習1	31	TOEIC Part2 提案・勧誘疑問文	
	14	海上保安学校 過去問演習2	32	TOEIC Part2 付加疑問文	
	15	海上保安学校 過去問演習3	33	TOEIC Part2 否定疑問文	
	16	予想問題に挑戦	34	TOEIC Part2 肯定文・否定文	
	17	予想問題に挑戦	35	チャレンジ問題 Part2	
18	前期期末試験→試験結果の確認と復習	36	後期期末試験→試験結果の確認と復習		
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	授業開始前と終了後に質問を受け付ける。	
	学習態度	40%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>0% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>100% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	担当教員は、全日本空輸(株)でCA、米系日本法人企業において外国人付秘書並びに人事採用担当、また米系金融日本法人企業の法務部にて弁護士アシスタントの仕事をした経験を持つ。英語は、カナダ、アメリカで3年間過ごした経験から身に着けたスキルである。(TOEIC 970)				

シラバス

科目名	数的処理Ⅱ		担当者名	佐藤保幸	
学科	公務員科 大学コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	8単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	144時間(週講時数4)
授業目的	文章や資料を読み、表や図、数字を用いて論理的に考える力をつける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	前期では1年時に学習した数的処理Ⅰに引き続き、数的処理の理解を深めていくことを目的とする。そして、数的処理の問題で正答率6割を目標に、点数の取り方を身に付けてもらいたい。後期では、財務諸表を読めるようにする。「読める」と一口で言っても、単に電卓をたたいて数字を出すわけではない。財務諸表を通じて、社会を知ってもらうことが目標である。				
授業概要	前期では、数的処理の数的推理、判断推理、空間把握、資料解釈の4分野を総合的に演習しながら理解を深めていく。さらに、各問題の難易度の見分け方や点数の取り方など、実戦的な訓練を行っていく。後期では、数的処理で学んだ、割合、利益計算、推論、最適化、資料解釈の手法を用いて、有名企業の財務諸表の分析を行う。財務諸表は読み方だけでなく、財務諸表には何が書かれていて、何がわかるのか、逆に数字からわからないことは何かを知ることも大事である。この作業を通じて、企業の客観的な評価の仕方を学んでもらう。広い意味で「評価」とは何かを知る機会にもしたい。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	数的推理復習と応用	19	お金とは/通貨/価値とは/市場	
	2	数的推理復習と応用	20	需要と供給、需給曲線/物価/GDPと景気/デフレ・インフレ	
	3	数的推理演習	21	人口と労働/地価と不動産	
	4	判断推理復習と応用	22	経済主体(企業, 家計, 政府)/経済体制/アベノミクス	
	5	判断推理復習と応用	23	銀行の役割/信用/金利/ローンと複利計算/国債	
	6	判断推理演習	24	消費と投資(投機と投資の違い)/後期中間テスト	
	7	空間把握復習と応用	25	会社とは/企業経営/原価率/売上と利益	
	8	空間把握演習	26	営業活動とマーケティング/外部資本効果(借金・負債)のメリット・デメリット	
	9	資料解釈復習と応用	27	財務諸表とは/BSとPLの構造と関係	
	10	資料解釈演習	28	複式簿記で記帳する。	
	11	これまでの総復習/前期中間テスト	29	有名企業の財務諸表を読む①	
	12	数的処理演習	30	有名企業の財務諸表を読む②	
	13	数的処理演習	31	財務諸表分析①	
	14	数的処理演習	32	財務諸表分析②	
	15	数的処理演習	33	財務諸表分析③	
	16	これまでの総復習/前期期末テスト	34	財務諸表分析④	
	17	数的処理直前演習	35	後期期末テストとその解説	
18	数的処理直前演習	36	会社の評価(良い会社とは何だろうか)		
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	授業開始前と終了後に質問を受け付ける。	
	学習態度	40%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>0% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>100% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	担当教員の専門は応用数学であり、数学の研究のみならず、統計学などのデータ分析、最適化、数理ファイナンスなどの門外漢から見ると高度な数学を、実務的に用いて仕事をすることも多い。社会に出てから使えることを主眼に置きつつ、応用数学の面白さも伝えていきたい。				

シラバス

科目名	数学Ⅱa		担当者名	仲田まり子	
学科	公務員科 大学コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	6単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ <u>通年</u> 必修・選択・ <u>必修選択</u>	授業時間数	108時間(週講時数3)
授業目的	高校数学の学びなおしを通して、公務員試験合格に必要な論理的な思考ができるようにする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	より実践的な解法・テクニックを使いこなせるようになる。				
授業概要	公務員試験に必要とされる数学を理解する。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	式と計算 三角関数の展開と因数分解①	19	三角関数①	
	2	三角関数の展開と因数分解②	20	三角関数②	
	3	二項定理①	21	加法定理①	
	4	二項定理②	22	加法定理②	
	5	整数の割り算、分数式①	23	指数関数①	
	6	整数の割り算、分数式②	24	指数関数②	
	7	複素数と方程式 二次方程式の解と判別式①	25	対数関数①	
	8	二次方程式の解と判別式②	26	対数関数②	
	9	解と係数の関係①	27	微分①	
	10	解と係数の関係②	28	微分②	
	11	解と係数の関係③	29	微分③	
	12	解と係数の関係④	30	微分④	
	13	剰余の定理と因数定理①	31	積分①	
	14	剰余の定理と因数定理②	32	積分②	
	15	剰余の定理と因数定理③	33	積分③	
	16	剰余の定理と因数定理④	34	積分④	
	17	高次方程式①	35	過去問演習①	
18	高次方程式②	36	過去問演習②		
成績割合	テスト	80%	学習FB方法	授業時間前後に質問を受け付ける。	
	学習態度	20%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>0% R<実働実践型学習>0% A<主体的参加型学習>100% G<海外体感型学習>0%				
講師プロフィール	担当教員は、専門学校において数学や心理学で十分な教育経験を有している。				

シラバス

科目名	文章表現Ⅱ		担当者名	堀切昌美	
学科	公務員科 大学コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ <u>通年</u> 必修・選択・ <u>必修選択</u>	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	公務員論文試験に合格する力を養うと同時に、社会に出て必要な文章力を培う。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	設定時間内に、作文課題の指定字数を書けるようにする。 公務員として、また、社会人としてモラルある意見を述べるができるようにする。				
授業概要	公務員採用試験、一次通過に大きなウェイトを占める論文を、求められるところに沿って書き、合格論文のレベルに到達するまで、書き直すことで自身の推敵力も上げていく。自信を持って書けるよう、自宅での復習も併せて進めていく。個別対応で細かな指導と助言を繰り返したい。				
授業計画表	授業内容				
	1	昨年度評価とそれぞれの課題の確認	19	さまざまな視点から意見文を書くということ	
	2	本番に向けての見直し・文章トレーニング	20	演習 新聞記事・評論文より問題設定する(1)	
	3	テーマ別 答案作成 ①「自己」について	21	演習 新聞記事・評論文より問題設定する(2)	
	4	テーマ別 答案作成 ②自分の経験を活かす	22	演習 新聞記事・評論文より問題設定する(3)	
	5	テーマ別 答案作成 ③最近気になったニュース	23	演習 新聞記事・評論文より問題設定する(4)	
	6	テーマ別 答案作成 ④〇〇としてやってみたいこと	24	演習 新聞記事・評論文より問題設定する(5)	
	7	「あるべき公務員像」についての書き方の概要	25	後期中間試験とその解説	
	8	「公務員像」の書き方 ①希望職種別 求められること・職務内容の確認	26	意見発表・グループディスカッション	
	9	「公務員像」の書き方 ②理想とする公務員像	27	集団討議の意見提示・効果的な話し合い	
	10	「公務員像」の書き方 ③住民に期待される〇〇像と取り組み	28	自分の思いを自分の言葉で発表する(1)	
	11	設問応答型論文の対処法	29	自分の思いを自分の言葉で発表する(2)	
	12	過去問テーマから各自自由に作文(1)	30	自分の思いを自分の言葉で発表する(3)	
	13	過去問テーマから各自自由に作文(2)	31	様々な文章を書く そのさいの目的と心構え	
	14	過去問テーマから各自自由に作文(3)	32	報告書の書き方	
	15	過去問テーマから各自自由に作文(4)	33	レポートの書き方	
	16	過去問テーマから各自自由に作文(5)	34	手紙の書き方	
	17	前期定期試験との解説	35	後期期末試験とその解説	
	18	まとめと評価	36	卒業にあたって 文章表現の今後の活かし方について	
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	個別に添削指導を繰り返し、学生の理解力に合わせて課題を設定し質問に答える。	
	学習態度	20%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>0% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>100% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	担当教員は、私立高校国語教師、公務員、日本語教師を経て民間企業に転身、営業部配属月間一千万円を売り上げ、昇格後、女性マネージャーとしてフランスルーブル美術館での着物ショーの裏方経験を持つ。以上を通じて担当教員が培った日本語の能力や社会常識などを若い世代に学ばせるべく、当校で10年以上教鞭をとり指導にあたっている。				

シラバス

科目名	総合講座Ⅱa		担当者名	堀切昌美	
学科	公務員科 大学コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	文章理解Ⅰの基礎力を定着させ、公務員採用試験一次突破することを目指し、国語力を高める				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	公務員一次試験の文章理解の問題に対し、自身をもって誤肢を消去することができる。社会人として恥ずかしくないように、熟語の読みや意味を理解できるようにする。				
授業概要	航空学科2学年との合同授業で、前期は公務員採用本試験に向けて、過去問を中心に実践力をつけていく。後期は、様々な文章を読み、要約したり意見交換することで社会に必要な実用文に慣れる。最終的に内定確定まで、就職試験対策のSPIについてもフォローを継続し、指導していく。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	文章合致問題を解く(1)	19	政府刊行物・白書から考える(1)	
	2	文章合致問題を解く(2)	20	政府刊行物・白書から考える(2)	
	3	趣旨把握問題を解く(1)	21	政府刊行物・白書から考える(3)	
	4	趣旨把握問題を解く(2)	22	政府刊行物・白書から考える(4)	
	5	空欄補充問題を解く(1)	23	政府刊行物・白書から考える(5)	
	6	空欄補充問題を解く(2)	24	SPI 言語分野対策(1)	
	7	文章整序問題を解く(1)	25	SPI 言語分野対策(2)	
	8	文章整序問題を解く(2)	26	後期中間試験とその解説	
	9	古文 合致問題・趣旨把握問題を解く(1)	27	グループディスカッション(1)	
	10	古文 合致問題・趣旨把握問題を解く(2)	28	グループディスカッション(2)	
	11	国語問題を解く(1)	29	グループディスカッション(3)	
	12	国語問題を解く(2)	30	いろいろな文章に触れる 業界紙	
	13	過去問題に挑戦(1)	31	いろいろな文章に触れる 雑誌	
	14	過去問題に挑戦(2)	32	グループワーク(1)	
	15	過去問題に挑戦(3)	33	グループワーク(2)	
	16	過去問題に挑戦(4)	34	新聞記事から考える(1)	
	17	過去問題に挑戦(5)	35	新聞記事から考える(2)	
	18	中間試験 ふりかえり	36	定期試験とその解説 まとめ	
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	適宜、小テストを実施する。また、調べたことを発表したり質問の場を設け知識の定着を図っていく。	
	学習態度	15%			
	レポート	15%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>0% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>100% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	担当教員は、私立高校国語教師、公務員、日本語教師を経て民間企業に転身、営業部配属月間一千万円を売り上げ、昇格後、女性マネージャーとしてフランスルーブル美術館での着物ショーの裏方経験を持つ。以上を通じて担当教員が培った日本語の能力や社会常識などを若い世代に学ばせるべく、当校で10年以上教鞭をとり指導にあたっている。				

シラバス

科目名	情報科学Ⅱ		担当者名	波多野将明	
学科	公務員科 大学コース		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ <u>通年</u> 必修・選択・ <u>必修選択</u>	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	情報機器を動かしているプログラムの基本的な動作を学ぶ。プログラミングとはどのようなものか知る。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	情報セキュリティの重要性を理解する。java言語を用い簡単なプログラムを作成実行できるようになる。				
授業概要	情報機器の動作原理を知る。コンピュータで実践しながらプログラミングについて学ぶ。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	ファイルシステム1 フォルダの作成 移動1	19	IF文を使ったプログラム1	
	2	ファイルシステム2 フォルダの移動2 名前変更	20	IF文を使ったプログラム2	
	3	エディターの使い方1	21	IF文を使ったプログラム3	
	4	エディターの使い方2	22	IF文を使ったプログラム4	
	5	簡単なプログラム作成とコンパイル、実行1	23	IF文を使ったプログラム5	
	6	簡単なプログラム作成とコンパイル、実行2	24	IF文を使ったプログラム6	
	7	簡単なプログラム作成とコンパイル、実行3	25	IF文を使ったプログラム7	
	8	簡単なプログラム作成とコンパイル、実行4	26	繰り返し処理を使ったプログラム1	
	9	数値を使ったプログラム1	27	繰り返し処理を使ったプログラム2	
	10	数値を使ったプログラム2	28	繰り返し処理を使ったプログラム3	
	11	数値を使ったプログラム3	29	繰り返し処理を使ったプログラム4	
	12	数値を使ったプログラム4	30	繰り返し処理を使ったプログラム5	
	13	文字列を使ったプログラム1	31	配列を使ったプログラム1	
	14	文字列を使ったプログラム2	32	配列を使ったプログラム2	
	15	文字列を使ったプログラム3	33	配列を使ったプログラム3	
	16	文字列を使ったプログラム4	34	配列を使ったプログラム4	
	17	文字列を使ったプログラム5	35	配列を使ったプログラム5	
	18	文字列を使ったプログラム6	36	配列を使ったプログラム6	
成績割合	テスト	40%	学習FB方法	プログラム作成に関するアドバイス プログラム内のミスの指摘	
	学習態度	20%			
	レポート	40%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>0% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>100% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	教員はjavaによる実務開発経験がある。				

シラバス

科目名	社会科学Ⅱb		担当者名	杉谷武信	
学科	公務員科 大学コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択 必修選択	授業時間数	36時間(週講時数2)
授業目的	政治や経済などの仕組みを理解し、公務員試験に合格する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	公務員初級・中級程度の問題を理解し、解けるようにする。				
授業概要	1年次で学んだことをふまえ、公務員試験の問題演習に取り組む。とくに政治分野では各国の政治体制や日本国憲法における自由権・社会権、三権分立(国会・内閣・裁判所)、選挙制度、経済分野では国民所得や経気動向、財政や日銀の金融政策、社会分野では人口や地球環境問題など頻出されやすい事項に絞込む。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	ガイダンス 授業の方針について	19		
	2	社会 社会保障制度のあゆみ(その1)	20		
	3	社会 社会保障制度のあゆみ(その2)	21		
	4	社会 医療問題	22		
	5	社会 環境問題・公害問題	23		
	6	問題演習 国家機能の変遷 社会契約説	24		
	7	問題演習 日本国憲法における基本的人権	25		
	8	問題演習 日本の三権分立	26		
	9	問題演習 市場と企業形態	27		
	10	問題演習 国民所得と景気動向、日銀の金融政策	28		
	11	問題演習 財政の仕組み	29		
	12	前期中間試験とその解説	30		
	13	問題演習 日本の経済発展	31		
	14	問題演習 国際経済体制	32		
	15	問題演習 労働関連法規と労働事情	33		
	16	問題演習 人口と地球環境問題	34		
	17	前期期末試験とその解説	35		
	18	まとめ 全授業に対する質疑応答	36		
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	授業開始前後に質問を受け付ける。	
	学習態度	40%			
	合計	100%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>0% R<実働実践型学習>0% A<<主体的参加型学習>>100% G<海外体感型学習>0%				
講師プロフィール	担当教員は専門学校において社会科学分野で十分な教育経験を有し、また大学において社会学指導の経験を有す。				

シラバス

科目名	人文科学Ⅱb		担当者名	杉谷武信	
学科	公務員科 大学コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期 後期・通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	36時間(週講時数2)
授業目的	日本史や世界史、地理、思想を理解し、公務員試験に合格する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	公務員初級・中級程度の問題を理解し、解けるようにする。				
授業概要	公務員試験合格を前提に、1年次で学んだことをふまえ、公務員試験の問題演習に取り組む。特に出題傾向が比較的高い、(1)近世・近代日本史と世界史、(2)日本・世界の文学・思想史、(3)地球環境について問題演習を行う。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	ガイダンス 授業の目的・目標・概要の確認	19		
	2	問題演習 江戸幕藩体制の成立から崩壊まで	20		
	3	問題演習 日本の近代国家形成過程(明治期から大正期を中心に)	21		
	4	問題演習 近代中国史(清の成立から滅亡、その後の民主主義・社会主義の展)	22		
	5	問題演習 第一次世界大戦から第二次世界大戦、そしてその後の日本	23		
	6	問題演習 武士政権の成立(平時政権から鎌倉幕府、室町幕府へ)	24		
	7	問題演習 近世・近代ヨーロッパ史(大航海時代・ルネサンス・宗教革命)	25		
	8	問題演習 近世・近代代ヨーロッパ史(イギリス・フランス史・アメリカ史)	26		
	9	問題演習 近世・近代ヨーロッパ史(ドイツ史・ロシア史)	27		
	10	問題演習 日本の土地制度史 公地公民制の成立とその崩壊、荘園の形成、検地の開始など	28		
	11	問題演習 日本の文学・芸術・思想	29		
	12	前期中間試験とその解説	30		
	13	問題演習 世界の文学・芸術・思想	31		
	14	問題演習 地図情報 地球環境(大地形・小地形)	32		
	15	問題演習 地球環境 気候区と土壌	33		
	16	問題演習 各国の地誌	34		
	17	前期期末試験とその解説	35		
	18	まとめ 全授業についての質疑応答	36		
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	授業開始前後に質問を受け付ける。	
	学習態度	40%			
	合計	100%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>0% R<実働実践型学習>0% A<主体的参加型学習>100% G<海外体感型学習>0%				
講師プロフィール	担当教員は専門学校において人文科学分野で十分な教育経験を有し、また大学において社会学指導の経験を有す。				

シラバス

科目名	ケーススタディ		担当者名	瀬戸ロ仁	
学科	公務員科 大学コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	行政に関連する様々な問題や課題を確認し、どう対応すべきかを考えていく。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	公務員や社会人にふさわしい倫理・道徳観ならびに知識を身につける。				
授業概要	授業ごとに用意された各種資料から今日の行政や国民生活が抱えるテーマ・課題をおさえた上で、各自は行政の一員(あるいは社会の一員)として、ディスカッションしながら、それらの理解につとめ、どのように業務を行うべきか、また生活していくべきかを考えていく。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	ガイダンス 前期の授業内容、目的、目標、概要について	19	後期ガイダンス 後期の授業内容について	
	2	公務員の不祥事対策 セクハラ	20	公務員の仕事の特徴 避難勧告	
	3	公務員の不祥事対策 パワハラ	21	公務員の仕事の特徴 海上保安庁	
	4	高齢者対策	22	公務員の仕事の特徴 警察	
	5	男女共同参画社会をめざして	23	公務員の仕事の特徴 租税や生活保護	
	6	大規模水害対策	24	公務員の仕事の特徴 し尿処理	
	7	子どもの貧困対策	25	公務員の仕事の特徴 ごみ処理	
	8	児童虐待対策	26	性的犯罪に関する治安対策について	
	9	個人情報保護法について	27	薬物規制について	
	10	特定秘密保護法について	28	タトゥーの是非	
	11	マイナンバー制度について考える	29	障害者の社会参加について	
	12	前期中間試験とその解説	30	現代家族の形態	
	13	規制緩和の意義と問題点	31	リスク社会をどう生きるか	
	14	憲法改正と国民投票法	32	表現の自由をめぐる問題(その1)	
	15	討論の仕方(その1)	33	表現の自由をめぐる問題(その2)	
	16	討論の仕方(その2)	34	混迷する世界情勢をどう生きるか	
	17	前期期末試験とその解説	35	後期期末試験とその解説	
18	まとめ 前期の全授業についての質疑応答	36	まとめ 後期の全授業についての質疑応答		
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	授業の終わりに質問を受け付ける	
	学習態度	30%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>0% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>100% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	担当教員は、サンケイスポーツ新聞社で記者として11年間プロ野球を担当。メジャーリーグを始めとする4大プロスポーツ、オリンピック、ワールドカップ等を取材。のち、産経新聞で記者として1年間政治等を取材。そのほか、東北福祉大学等で講師を担当。全国で公演活動を展開。				

シラバス

科目名	心理学a		担当者名	仲田まり子	
学科	公務員科 大学コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期 後期・通年 必修・選択・必修選択	授業時間数	36時間(週講時数2)
授業目的	心理学の学習を通して、自分自身を含めた人間への理解を深める。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	心理学的知見と理論を理解する。				
授業概要	人間の心の仕組み・心の働きを心理学的知見と理論を通して解き明かす。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	心理学の歴史・心の研究法	19		
	2	社会心理学とは	20		
	3	傍観者実験①	21		
	4	傍観者実験②	22		
	5	社会的促進実験①	23		
	6	社会的促進実験②	24		
	7	ホーソン実験①	25		
	8	ホーソン実験②	26		
	9	印象形成実験	27		
	10	つり橋実験	28		
	11	同調実験①	29		
	12	同調実験②	30		
	13	フットインザドア実験	31		
	14	認知的不協和実験①	32		
	15	認知的不協和実験②	33		
	16	模擬刑務所実験	34		
	17	アイヒマン実験	35		
	18	認知心理学 視覚の不思議	36		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	授業時間前後に質問を受け付ける。	
	学習態度	50%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>0% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>100% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	担当教員は、専門学校において数学や心理学で十分な教育経験を有している。				

シラバス

科目名	教養Ⅱ		担当者名	堀切昌美	
学科	公務員科 大学コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	公務員・社会人にふさわしいマナーを身につける。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	年2回実施される、文科省公認【ビジネス能力検定(ジョブパス)】の3級、2級の合格を目指す。				
授業概要	就職活動の準備として、また社会人の常識・マナーやモラルを習得するための学習を行う。				
授業計画表	授業内容		授業内容		
	1	キャリアとは / 仕事へのアプローチ/身だしなみの基本	19	時事問題を新聞記事から読み解く(その1)	
	2	将来の自分/仕事への取り組み方	20	時事問題を新聞記事から読み解く(その2)	
	3	組織人としての重要な心構え/仕事の進め方	21	社会人としてのルール・コンプライアンス	
	4	お客様第一主義・8つの意識	22	メモの重要性と取り方	
	5	コミュニケーションとビジネスマナーの基本	23	ビジネス会話の特徴・目的	
	6	指示の受け方と報告・連絡・相談	24	商談にあたっての心構えと行動	
	7	話し方と聞き方のポイント	25	会議の基本的な流れ・議事録のポイント	
	8	尊敬語・謙譲語・丁寧語の使い分け	26	人前で話す方法・話の構成	
	9	電話応対・来客応対と訪問のマナー	27	人前で話す 実践編	
	10	冠婚葬祭のマナー	28	チームワークの意義と重要性	
	11	仕事のマニュアル化	29	仕事に影響を及ぼす人間関係	
	12	ビジネス文書の基本	30	問題発見と解決の方法	
	13	統計データの作り方・読み方	31	論理的思考・分析方法	
	14	情報収集とメディアの活用	32	報告書の書き方・企画書の書き方	
	15	会社数字の読み方	33	社内文書と社外文書	
	16	ネットワークと電子メールの活用	34	国際経済と日本経済	
	17	ビジネス用語	35	ビジネスの基本と法律	
	18	前期定期試験 ふりかえり	36	後期試験とその解説	
成績割合	テスト	90%	学習FB方法	授業の開始終了後に質問を受け付ける。	
	学習態度	10%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>0% R<実働実践型学習>0% A<主体的参加型学習>100% G<海外体感型学習>0%				
講師プロフィール	担当教員は、私立高校国語教師、公務員、日本語教師を経て民間企業に転身、営業部配属月間一千万円を売り上げ、昇格後、女性マネージャーとしてフランスルーブル美術館での着物ショーの裏方経験を持つ。以上を通じて担当教員が培ったビジネスマナーや社会常識などを若い世代に学ばせるべく、当校で10年以上教鞭をとり指導にあたっている。				

シラバス

科目名	自然科学Ⅱa		担当者名	笹茂夫	
学科	公務員科 大学コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択	授業時間数	36時間(週講時数2)
授業目的	公務員試験自然科学分野のうち出題頻度の高い10項目を扱う。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	公務員試験初級中級程度の自然科学分野で扱う基礎的問題が容易に解答できるようになること。				
授業概要	公務員試験の自然科学分野で出題頻度の高い細胞の構造と働き、同化と異化、岩石と火山などの内容について学ぶ。年度により出題傾向が変わるため項目に変動の可能性がある。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	細胞の構造と働き1	19		
	2	細胞の構造と働き2	20		
	3	同化(光合成)と異化(呼吸)1	21		
	4	同化(光合成)と異化(呼吸)2	22		
	5	岩石・火山1	23		
	6	岩石・火山2	24		
	7	生物の反応と調節1	25		
	8	生物の反応と調節2	26		
	9	地球の岩圏と気圏1	27		
	10	地球の岩圏と気圏2	28		
	11	力のつりあい・運動エネルギー1	29		
	12	力のつりあい・運動エネルギー2	30		
	13	遺伝1	31		
	14	遺伝2	32		
	15	人の器官1	33		
	16	人の器官2	34		
	17	物質の性質	35		
	18	式の計算。関数	36		
成績割合	テスト	80%	学習FB方法	講義に合わせた演習を毎回行ない質問を受け付ける。	
	学習態度	20%			
	合計	100%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>0% R<実働実践型学習>0% A<主体的参加型学習>100% G<海外体感型学習>0%				
講師プロフィール	担当教員は専門学校において自然科学分野で十分な教育経験を有し、また現役の電気設備系技術者でもある。				

シラバス

科目名	応用ゼミ I A		担当者名	杉谷武信	
学科	公務員科 大学コース		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 2学年	開講期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択	授業時間数	36時間(週講時数2)
授業目的	政治や経済情勢が変化するなか、各自が公務員や社会人として、どのように生きるべきかを考える。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	行政や一般企業で働きたいに必要な、将来の業界の動向について関心を高めると同時に、論理的思考力やコミュニケーション能力、幅広い視野、道徳性を身につける。				
授業概要	各自の将来の就職先となるさまざまな行政機関や一般企業の特徴を知ることが前提として、文献やweb資料を用いて、世界や日本の現状を調べながら、それらの将来について考える。さらに、各自が国民として、また社会人としてどのような社会を作るべきかを考えていく。以上について、各自がレポートを作成し、プレゼンやディスカッションを行う。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	ガイダンス ゼミの方針について	19		
	2	資料の集め方	20		
	3	討論・質疑応答の方法	21		
	4	レジュメの作り方	22		
	5	プレゼンの仕方	23		
	6	レポートのまとめ方	24		
	7	社会の変化の探求(その1)	25		
	8	社会の変化の探求(その2)	26		
	9	社会の変化の探求(その3)	27		
	10	研究成果の中間報告会	28		
	11	行政や企業はどのように変わっていくか(その1)	29		
	12	行政や企業はどのように変わっていくか(その2)	30		
	13	行政や企業はどのように変わっていくか(その3)	31		
	14	どのような社会をつくりたいか(その1)	32		
	15	どのような社会をつくりたいか(その2)	33		
	16	どのような社会をつくりたいか(その3)	34		
	17	研究成果報告 テクノス展に向けて	35		
	18	まとめ 全授業に関する質疑応答	36		
成績割合	レポート	35%	学習FB方法	授業開始前後に質問を受け付ける。	
	学習態度	30%			
	プレゼンテーション	35%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79 点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>0% R<実働実践型学習>0% A<主体的参加型学習>100% G<海外体感型学習>0%				
講師プロフィール	担当教員は専門学校において社会・人文科学分野で十分な教育経験を有し、また大学において社会学指導の経験を有す。				